

神奈川県及び東京都の境界にわたる相模原市と町田市との境界変更について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第3項の規定により、平成28年12月1日から神奈川県相模原市と東京都町田市との境界を別紙境界変更調書のとおり変更することを総務大臣に申請するものとする。

平成27年11月19日提出

相模原市長 加山俊夫

提案の理由

神奈川県相模原市と東京都町田市との境界に係る境川の改修に伴い、両市の境界を変更いたしたく、地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第6項の規定により提案するものである。

別紙

境界変更調書

1 神奈川県相模原市から東京都町田市に編入する区域

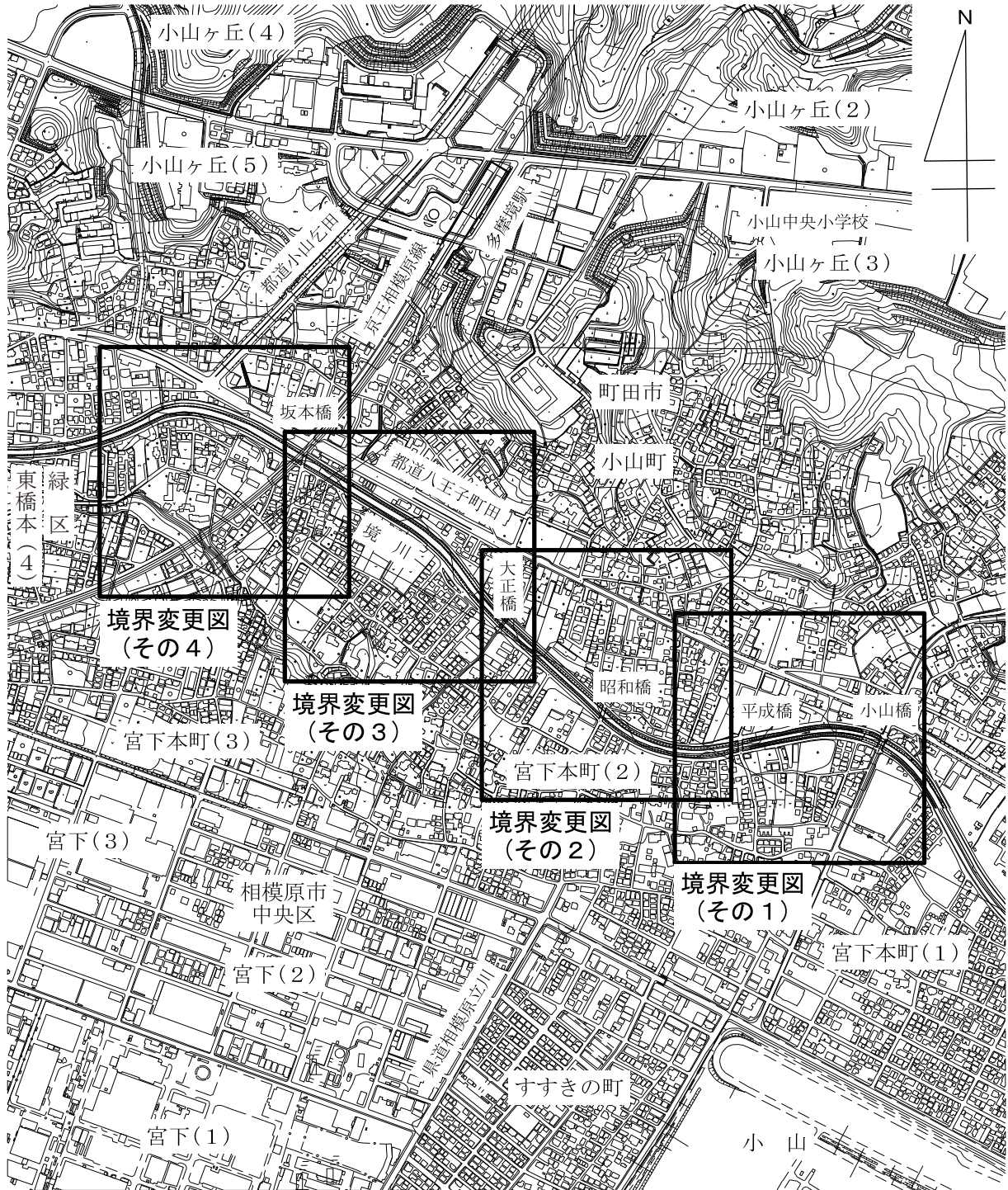
相模原市中央区宮下本町二丁目2274の2、2283の1の一部、2283の2の一部、2284の1から2284の9まで、2288の2の一部、2289の3の一部、2290の3の一部、2291の4の一部、2292の2の一部、2294の一部、2295の7の一部、2296の3の一部、2300の2の一部、2301の2の一部、2301の3の一部、2333から2335までの各一部、2342の4の一部、2343の一部、2344の一部、2354の一部、宮下本町三丁目1801の1から1801の8まで、1826の2の一部、1827、1828の1から1828の5まで、1829の2の一部、1830の2の一部、1841、1842の2の一部、1853、緑区東橋本三丁目496の1、496の2の一部、513の11の一部、513の14の一部、513の24の一部、514の1の一部、東橋本四丁目1162の一部、1169の2の一部、1170の1から1170の8まで、1171の3の一部、1172の4の一部、1173の2、1173の3の一部、1286の一部、1287の1の一部、1287の3の一部、1287の4の一部、1290の1の一部及びこれらの区域に隣接介在する道路、水路である国有地の一部並びに中央区宮下本町二丁目2273、2279、2280の2、2281の2、2295の4、2295の7、2301の1、2323の2、2324、2355の7、2355の8、宮下本町三丁目1777の3、1799の7、1799の9、1800の2、1802の1、1802の2、1805、1806、1808の11、1809の1、1809の2、1825の2、1842の1、1852、1854の4、1854の6、1854の7、緑区東橋本三丁目495の6、495の7、1142の2、1147の1、1148の2、1149の2、1150の1、1152、1155の16、東橋本四丁目1161の18、1163の2、1174の2、1284の7から1284の9まで、1289の10、1291の2の地先の道路、水路である国有地の一部

2 東京都町田市から神奈川県相模原市に編入する区域

町田市小山町字九号 1 1 6 8 の 4 の一部、字二十二号 2 4 5 0 の 8 の一部、2 4 5 1 の 2、2 4 5 1 の 3 の一部、2 4 6 4 の 2、2 4 6 4 の 3 の一部、2 4 6 5 の 2 の一部、2 4 9 3 の 5 の一部、2 4 9 4 の 6 の一部、2 4 9 9 の 7 の一部、字二十三号 2 6 1 0 の 2 の一部、2 6 2 1 の 4、2 6 2 1 の 5 の一部、2 6 3 2 の 1 の一部、2 6 3 2 の 4 の一部、2 6 3 2 の 9 の一部、字二十九号 3 1 5 5 の 2 の一部、字三十三号 3 5 1 6 の 2、3 5 1 6 の 4、3 5 5 1 の 2 の一部、字三十八号 4 2 6 0 の 2 の一部、4 2 6 1 の 2 の一部、4 2 6 2 の 1 の一部、4 2 6 3 の 4 の一部、4 2 6 4 の 2 の一部、4 2 6 5 の 2 の一部、4 3 1 1 の 2 の一部、4 3 1 2 の 2 の一部、4 3 1 3 の 2 の一部、4 3 1 4 の一部、4 3 3 1 の 2 の一部、4 3 3 3 の一部、4 3 3 4 の 2 の一部及びこれらの区域に隣接介在する道路、水路である国有地の一部並びに小山町字九号 1 1 6 4 の 2、1 1 6 8 の 6、字二十二号 2 4 9 2 の 3、2 4 9 2 の 6、2 4 9 3 の 4、2 4 9 4 の 7、2 4 9 7 の 3、2 4 9 8 の 7、字二十三号 2 6 3 5 の 5、字二十九号 3 1 5 1 の 2、3 1 5 1 の 4、字三十三号 3 5 1 7 の 2、3 5 2 3 の 2、3 5 5 1 の 3、3 5 5 1 の 4、字三十四号 3 6 4 1 の 4、3 6 5 5 の 4、3 6 6 9 の 4、3 6 6 9 の 2 2、字三十八号 4 2 7 2 の 1、4 2 7 2 の 3、4 2 8 6 の 2、4 2 8 8 の 2、4 2 9 0 の 2、4 2 9 1 の 4、4 3 1 0 の 2、4 3 1 2 の 3、4 3 1 6 の 1、4 3 1 6 の 4、4 3 2 9 の 2、4 3 3 1 の 3、4 3 3 1 の 5、4 3 3 2 の 2 の地先の道路、水路である国有地の一部

備考 上記の土地の表示は、平成 2 7 年 1 0 月 1 日現在の土地の登記事項証明書によるものである。

案内図(その1)

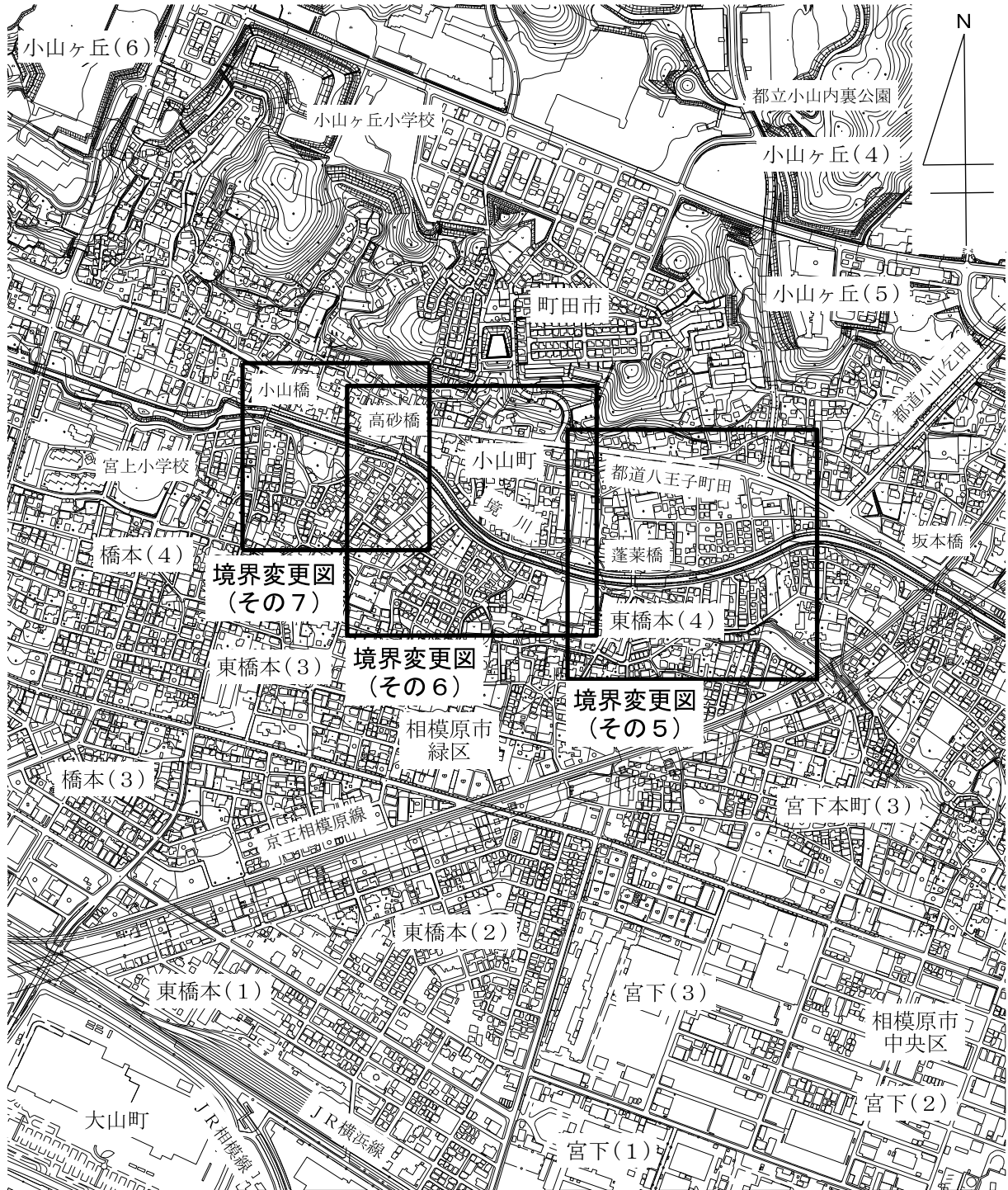


凡例



第6期事業実施区間

案内図(その2)

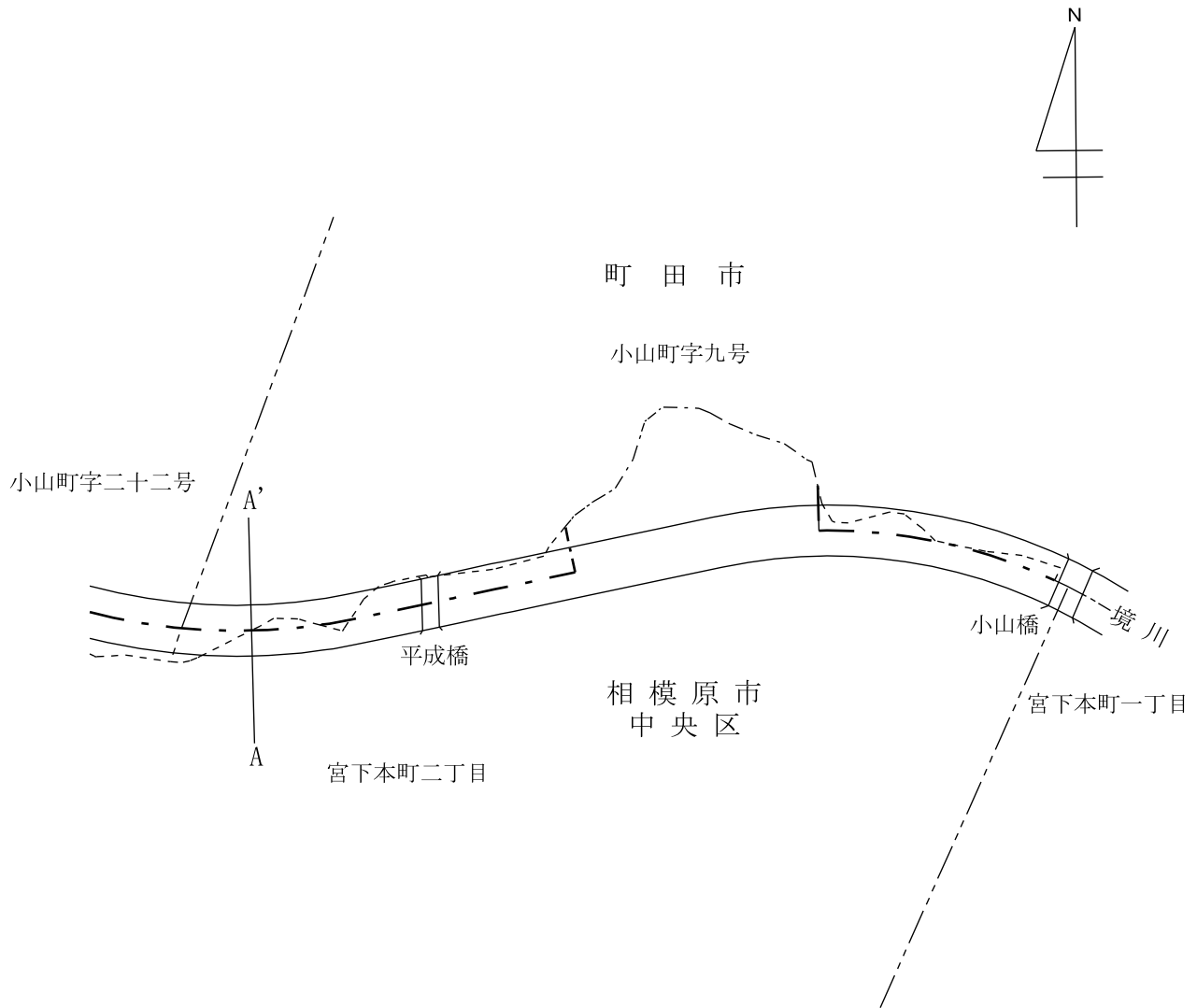


凡例



第6期事業実施区間

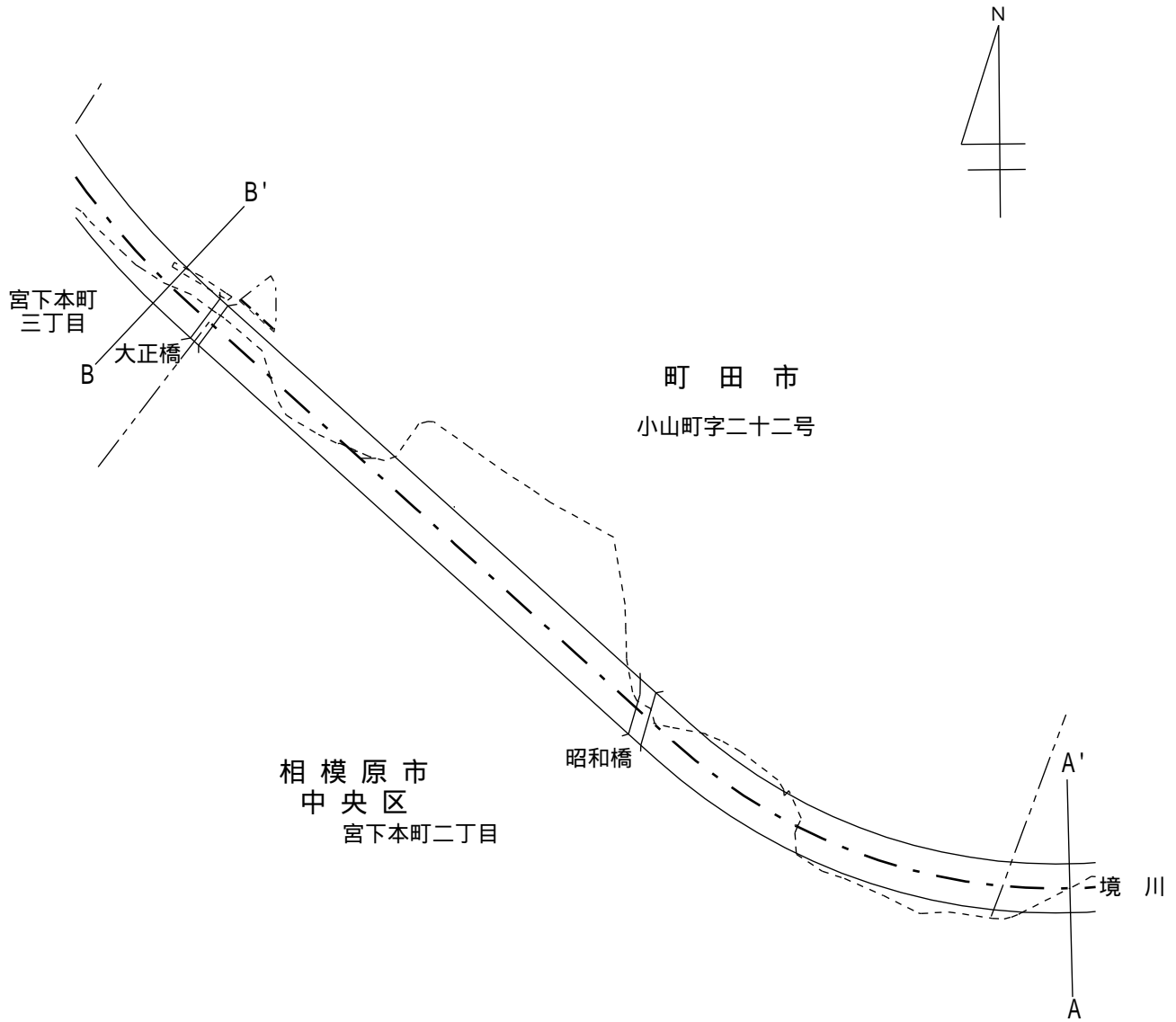
相模原市・町田市境界変更図（その1）



凡例

— · — · — · — ·	新市境界
·····	旧市境界
—————	市境界
——— · ——	町界・字界

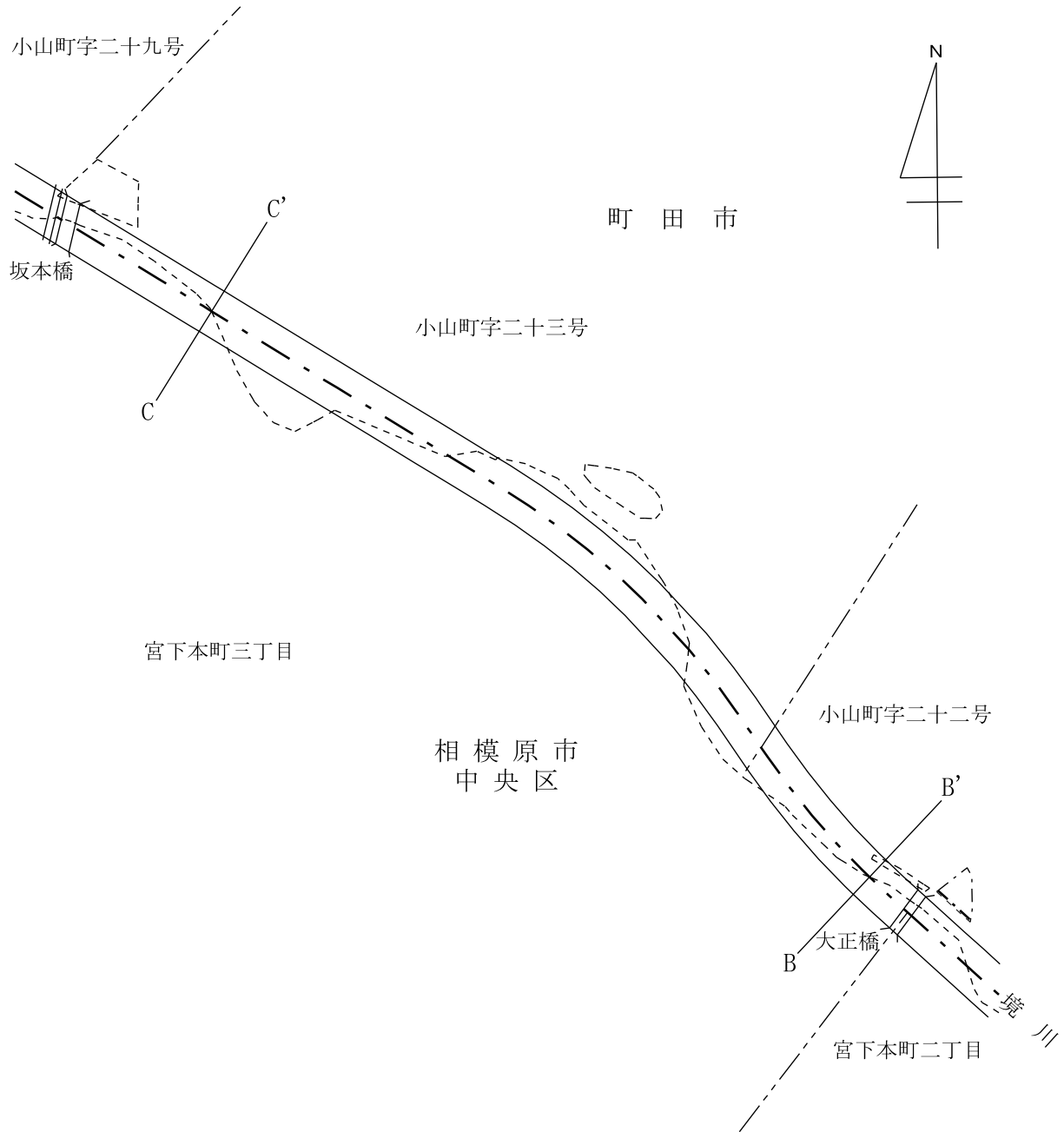
相模原市・町田市境界変更図（その2）



凡例

— · — · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界・字界

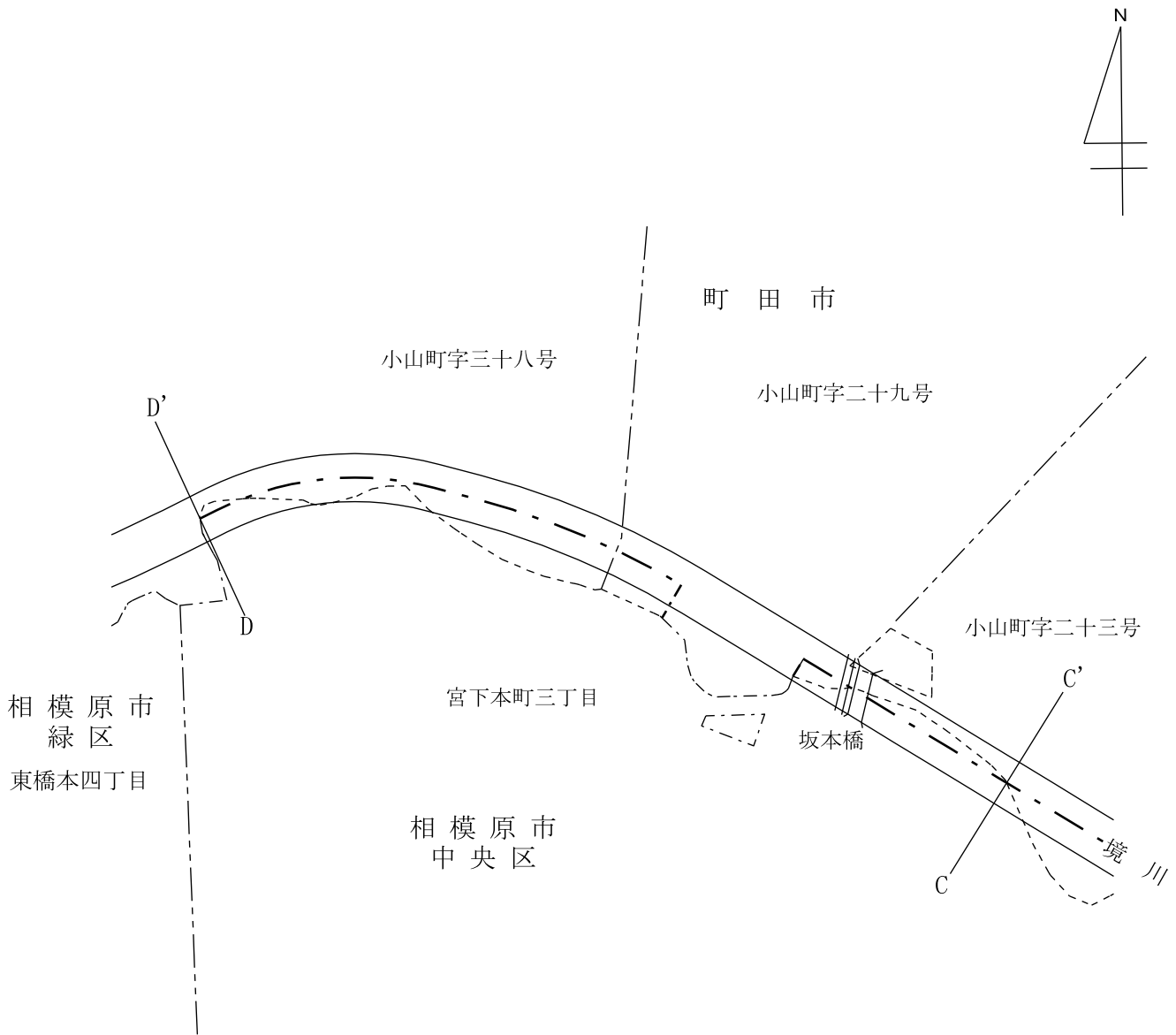
相模原市・町田市境界変更図（その3）



凡例

— · - · - ·	新市境界
·····	旧市境界
—————	市境界
- · - · - ·	町界・字界

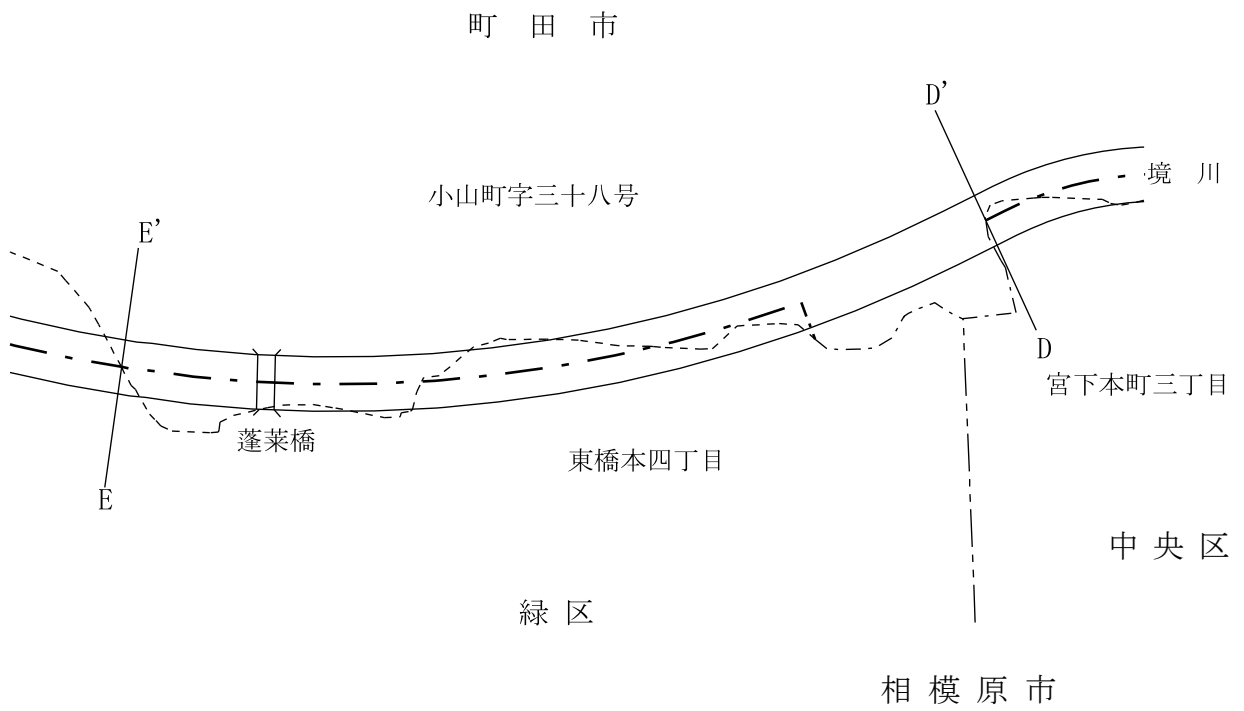
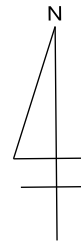
相模原市・町田市境界変更図（その4）



凡例

— - — -	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界・字界

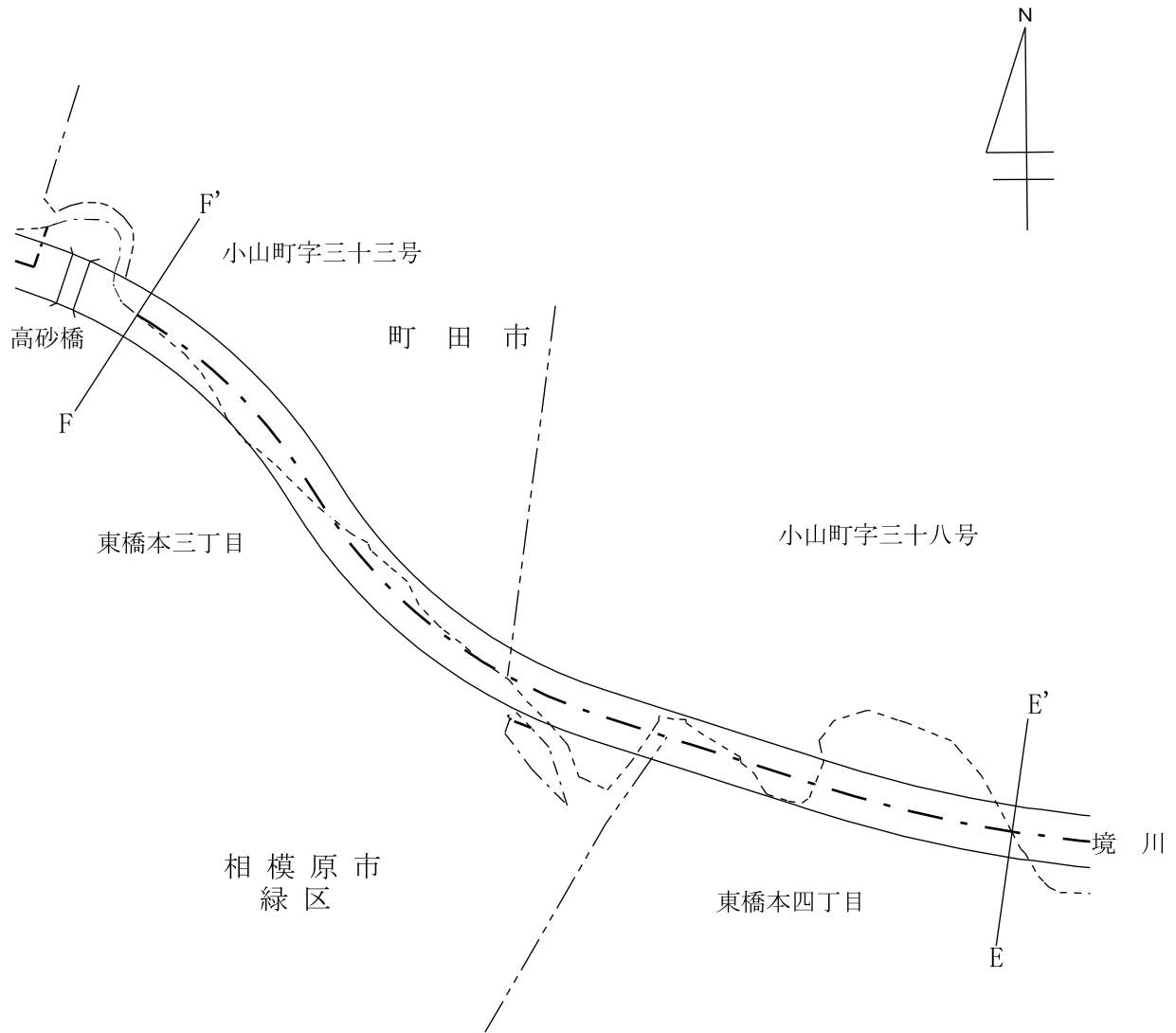
相模原市・町田市境界変更図（その5）



凡例

— · — · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界

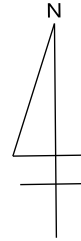
相模原市・町田市境界変更図（その6）



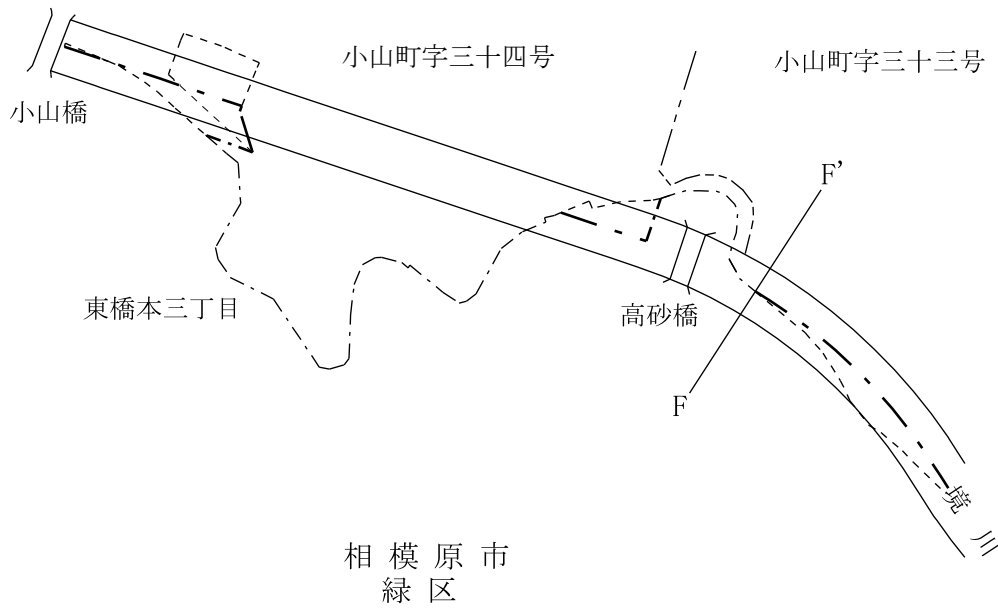
凡 例

— · — · — · — ·	新 市 境 界
-----	旧 市 境 界
-----	市 境 界
-----	町 界 ・ 字 界

相模原市・町田市境界変更図（その7）



町 田 市



凡 例

— · — · — ·	新 市 境 界
-----	旧 市 境 界
-----	市 境 界
-----	字 界

相模原市と町田市との境界変更に伴う財産処分に関する協議について
地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第5項の規定により、相模原市と町
田市との境界を変更することに伴い、両市の財産の処分に関して別紙により協議す
る。

平成27年11月19日提出

相模原市長 加山俊夫

提案の理由

相模原市と町田市との境界変更に伴い、財産処分について同市と協議いたした
く、地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第6項の規定により提案するも
のである。

別紙

財産処分に関する協議書

平成28年12月1日から町田市と相模原市との境界を変更することに伴い、両市の財産処分に関しては、次に掲げるとおりとする。

平成 年 月 日

町田市長 石 阪 丈 一

相模原市長 加 山 俊 夫

- 1 相模原市が所有する土地のうち町田市に編入する区域内に存することとなる次に掲げる土地については、境界変更後も相模原市の所有とする(詳細図1関係)。

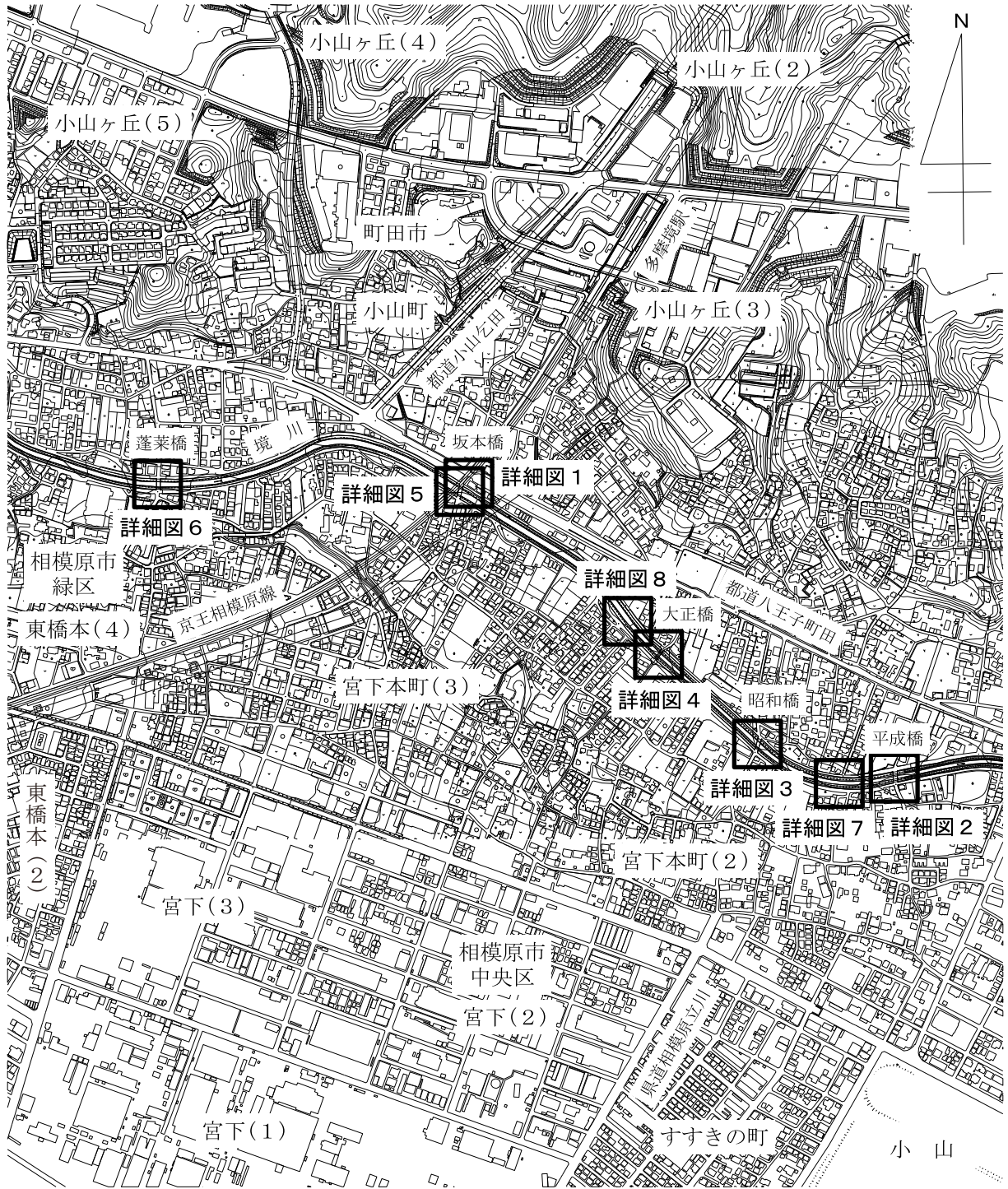
地番	面積	地目
相模原市中央区宮下本町三丁目1801番2	42 m ²	畑
相模原市中央区宮下本町三丁目1801番3	79 m ²	畑
相模原市中央区宮下本町三丁目1801番6	6.11 m ²	公衆用道路


備考 上記の土地の地番及び地目は、平成27年10月1日現在の土地の登記事項証明書によるものである。

- 2 相模原市が所有する平成橋のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図2関係)。
- 3 相模原市が所有する昭和橋のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図3関係)。
- 4 相模原市が所有する大正橋のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図4関係)。
- 5 相模原市が所有する坂本橋のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図5関係)。
- 6 相模原市が所有する坂本橋(人道橋)のうち町田市に編入する区域内に存するこ

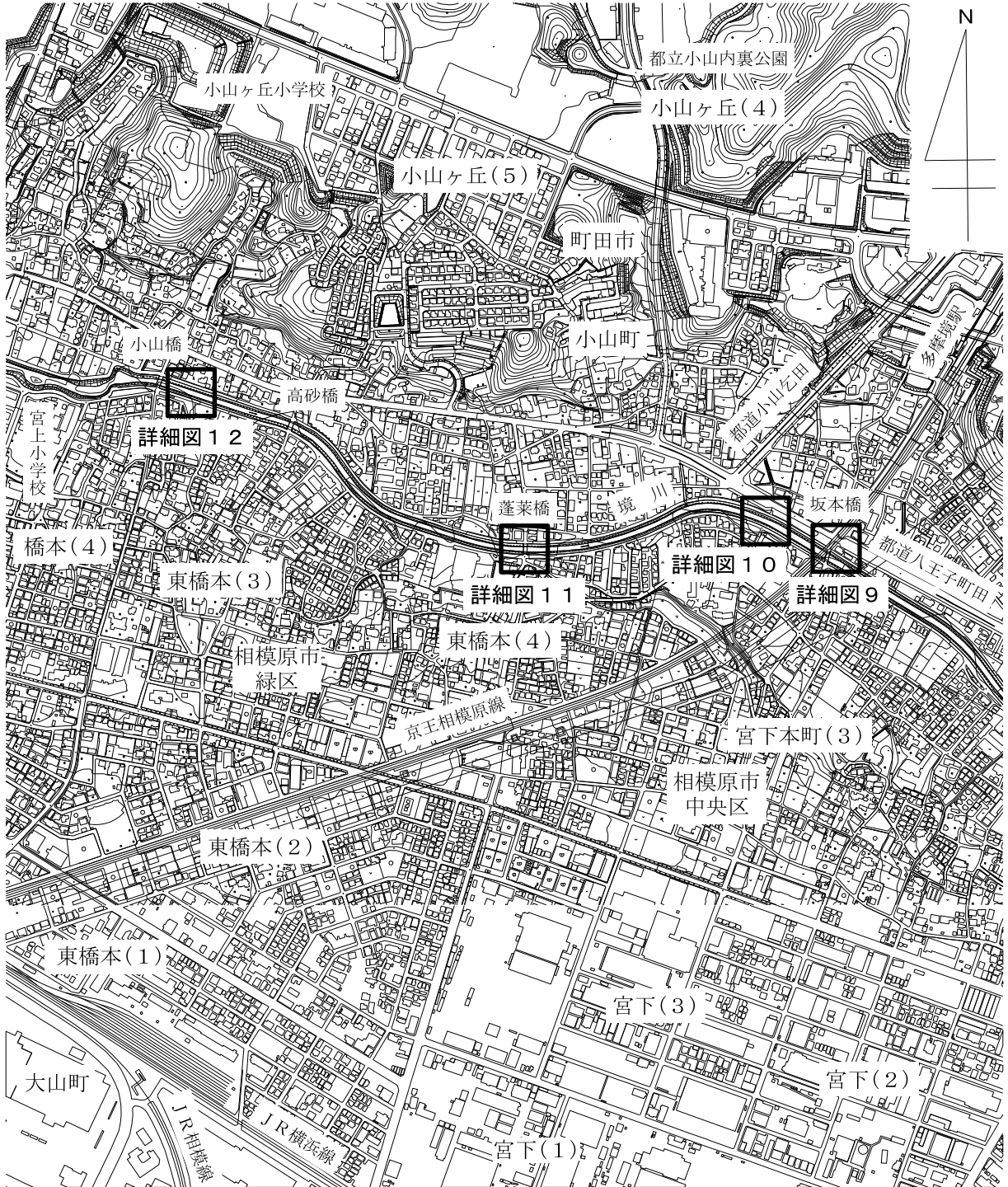
- ととなる部分については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図 5 関係)。
- 7 町田市が所有する坂本橋(人道橋)のうち相模原市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は相模原市に帰属する(詳細図 5 関係)。
 - 8 町田市が所有する蓬萊橋のうち相模原市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後は相模原市に帰属する(詳細図 6 関係)。
 - 9 相模原市が所有する公共下水道施設のうち相模原市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後も相模原市の所有とする(詳細図 7、詳細図 8、詳細図 10 及び詳細図 11 関係)。
 - 10 相模原市が所有する公共下水道施設のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分及び町田市の区域内において当該公共下水道施設に連続する相模原市所有の公共下水道施設については、境界変更後は町田市に帰属する(詳細図 9 関係)。
 - 11 町田市が所有する公共下水道施設のうち町田市に編入する区域内に存することとなる部分については、境界変更後も町田市の所有とする(詳細図 12 関係)。

案内図(その1)



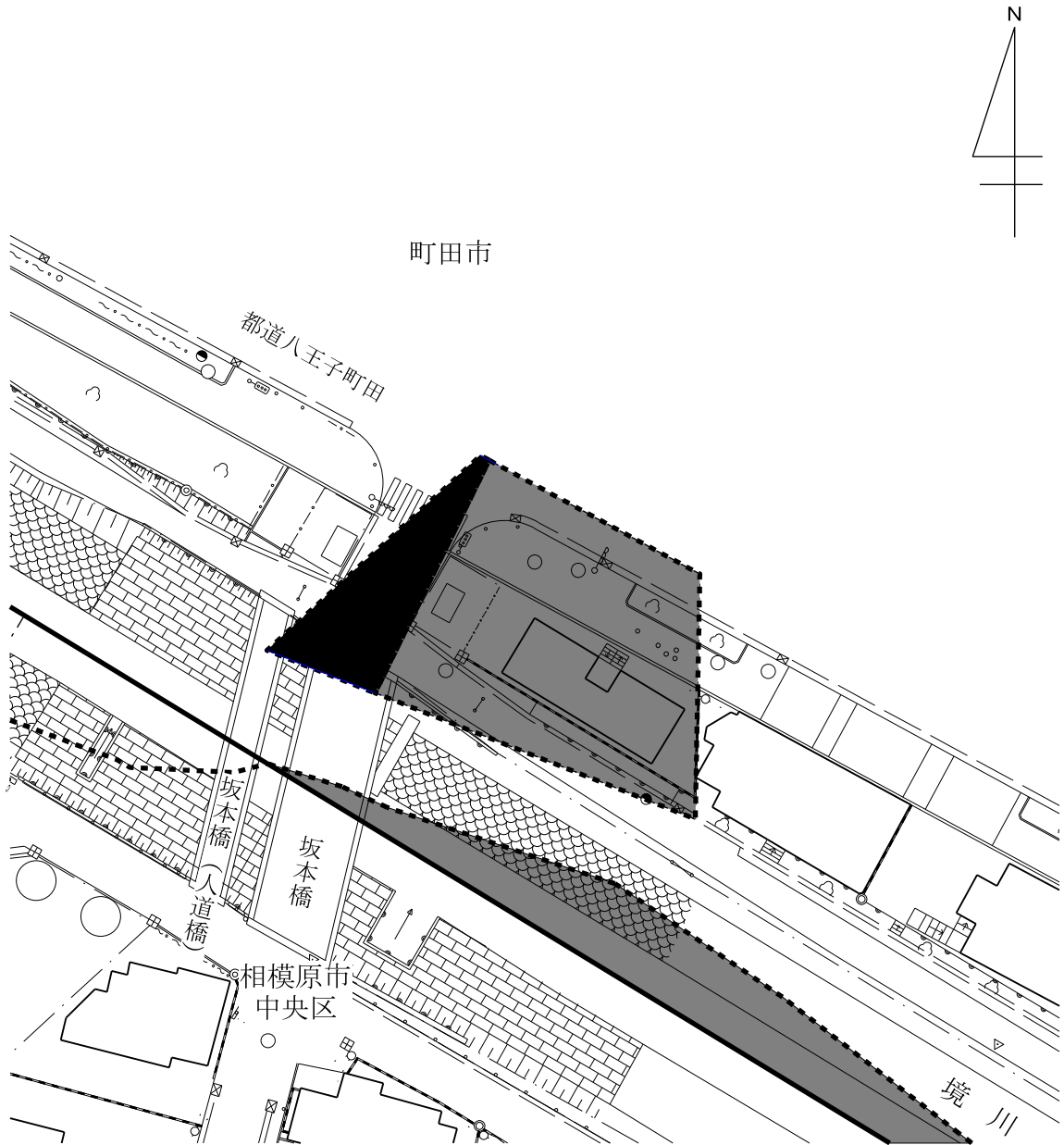
凡例  該当箇所

案内図(その2)







凡 例 該当箇所

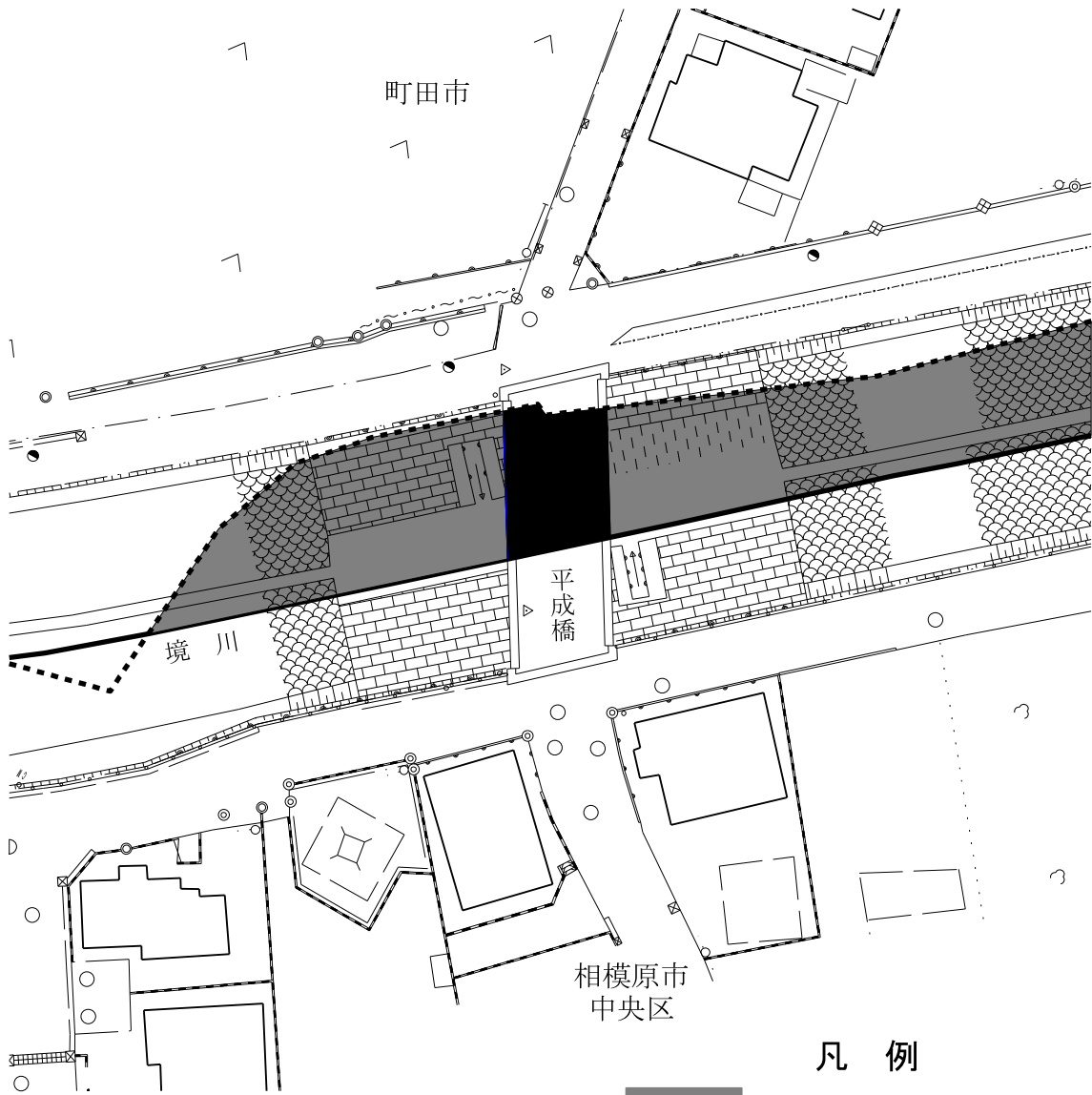
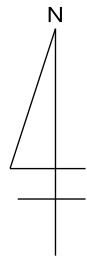
詳細図 1







凡 例

-  町田市に編入する区域
-  相模原市の所有とする土地
-  新市境界
-  旧市境界

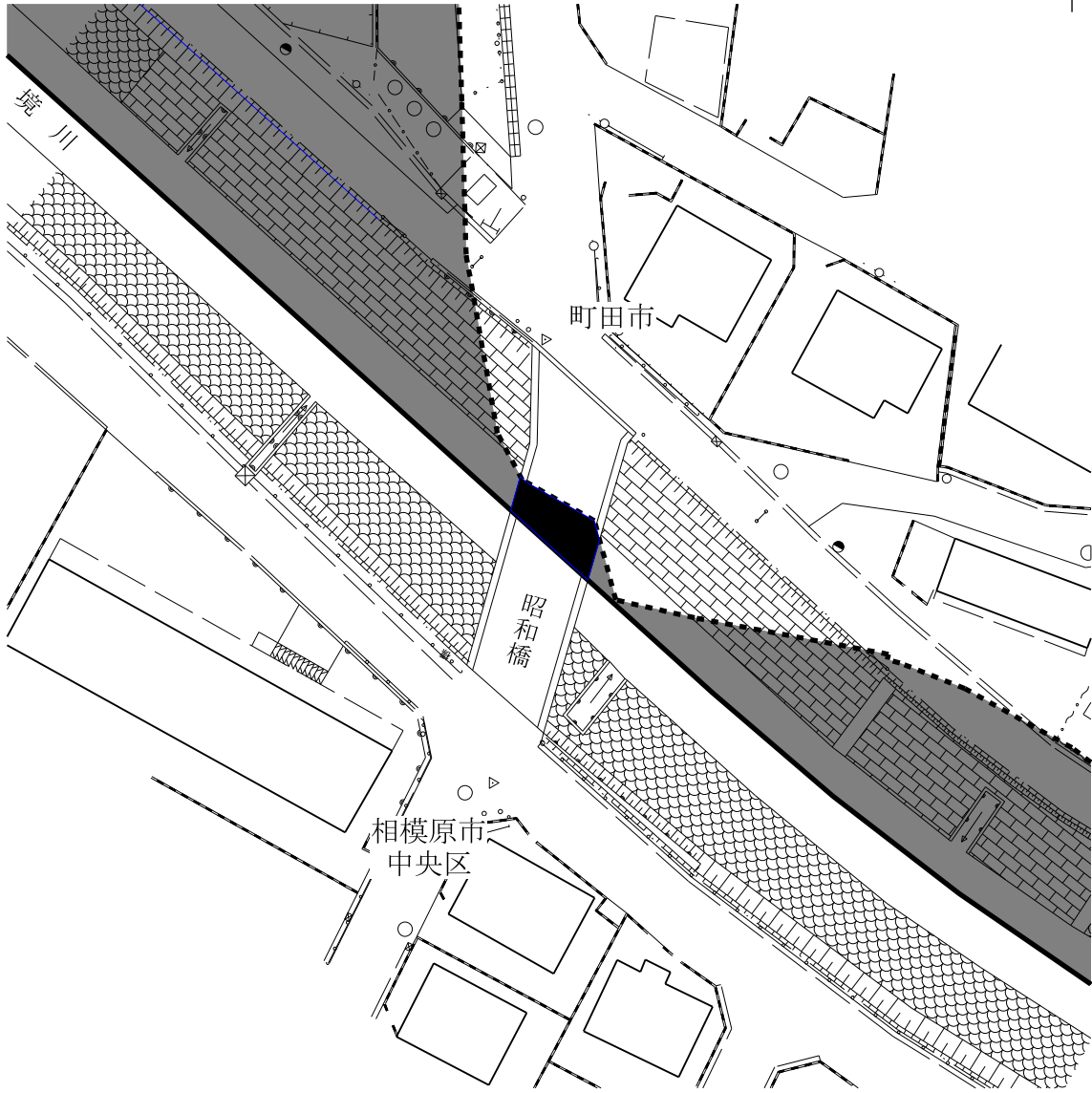
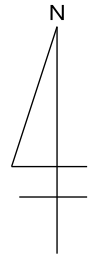
詳細図 2







凡例

-  町田市に編入する区域
-  町田市に帰属する橋りょう
-  新市境界
-  旧市境界

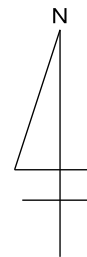
詳細図 3








凡 例

-  町田市に編入する区域
-  町田市に帰属する橋りょう
-  新市境界
-  旧市境界

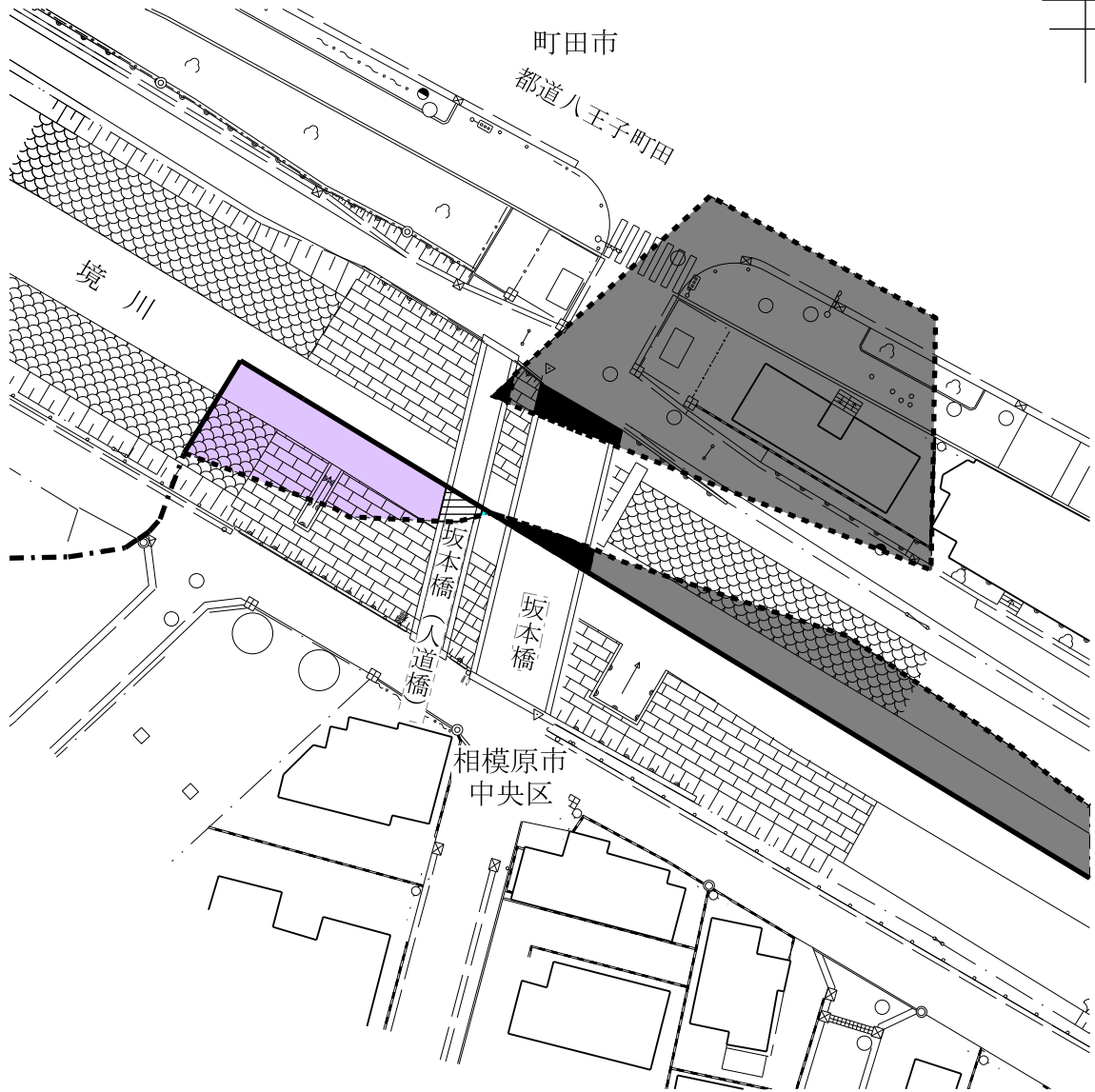
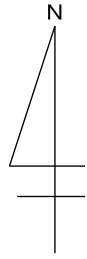
詳細図 4





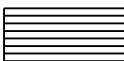




凡 例

-  町田市に編入する区域
-  町田市に帰属する橋りょう
-  新市境界
-  旧市境界
-  現市境界

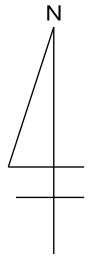
詳細図 5







凡 例

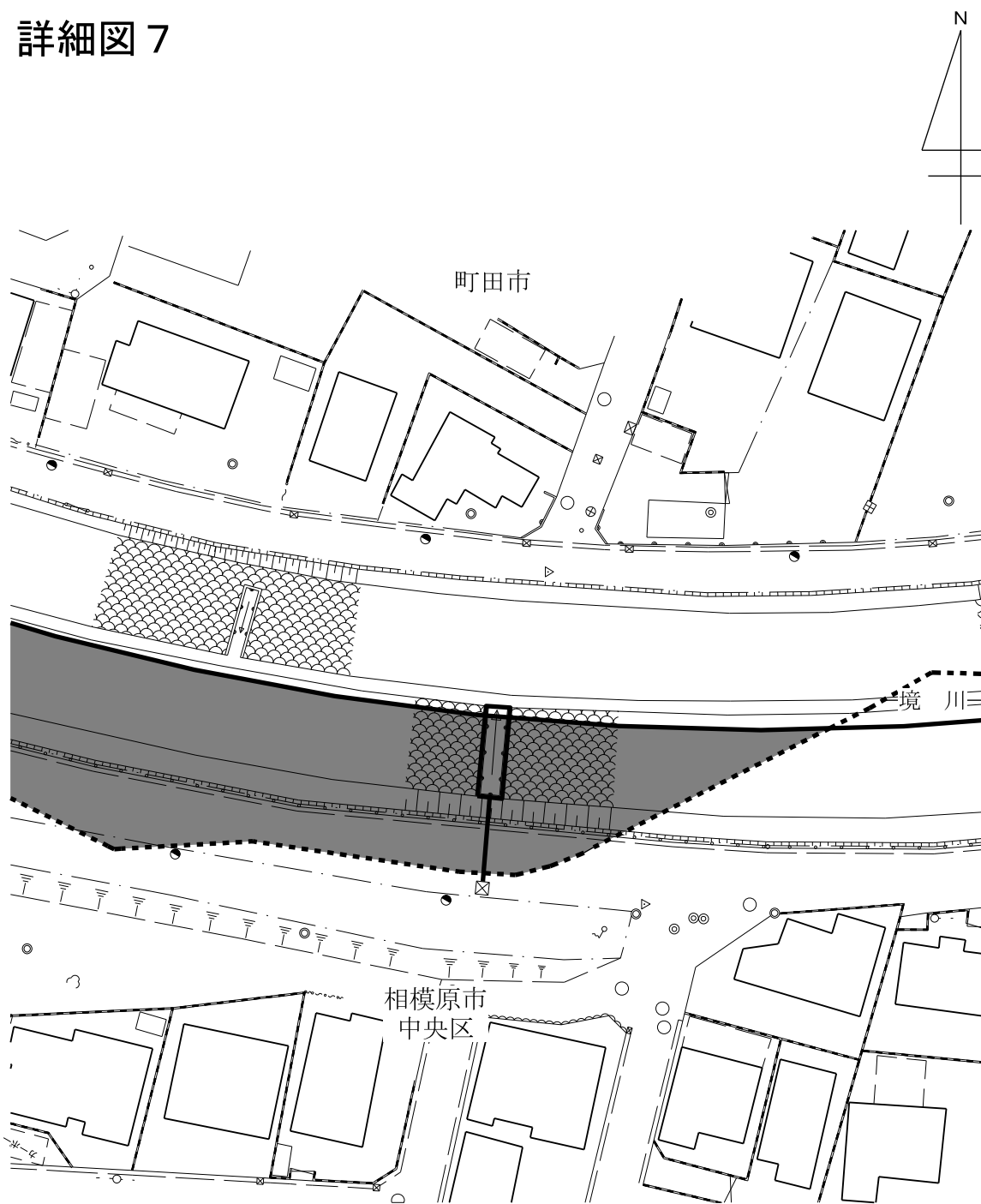
- | | |
|---|--|
|  相模原市に編入する区域 |  町田市に編入する区域 |
|  相模原市に帰属する橋りょう |  町田市に帰属する橋りょう |
|  新市境界 |  旧市境界 |
| |  現市境界 |

詳細図 6







-  相模原市に編入する区域
-  相模原市に帰属する橋りょう
-  新市境界
-  旧市境界

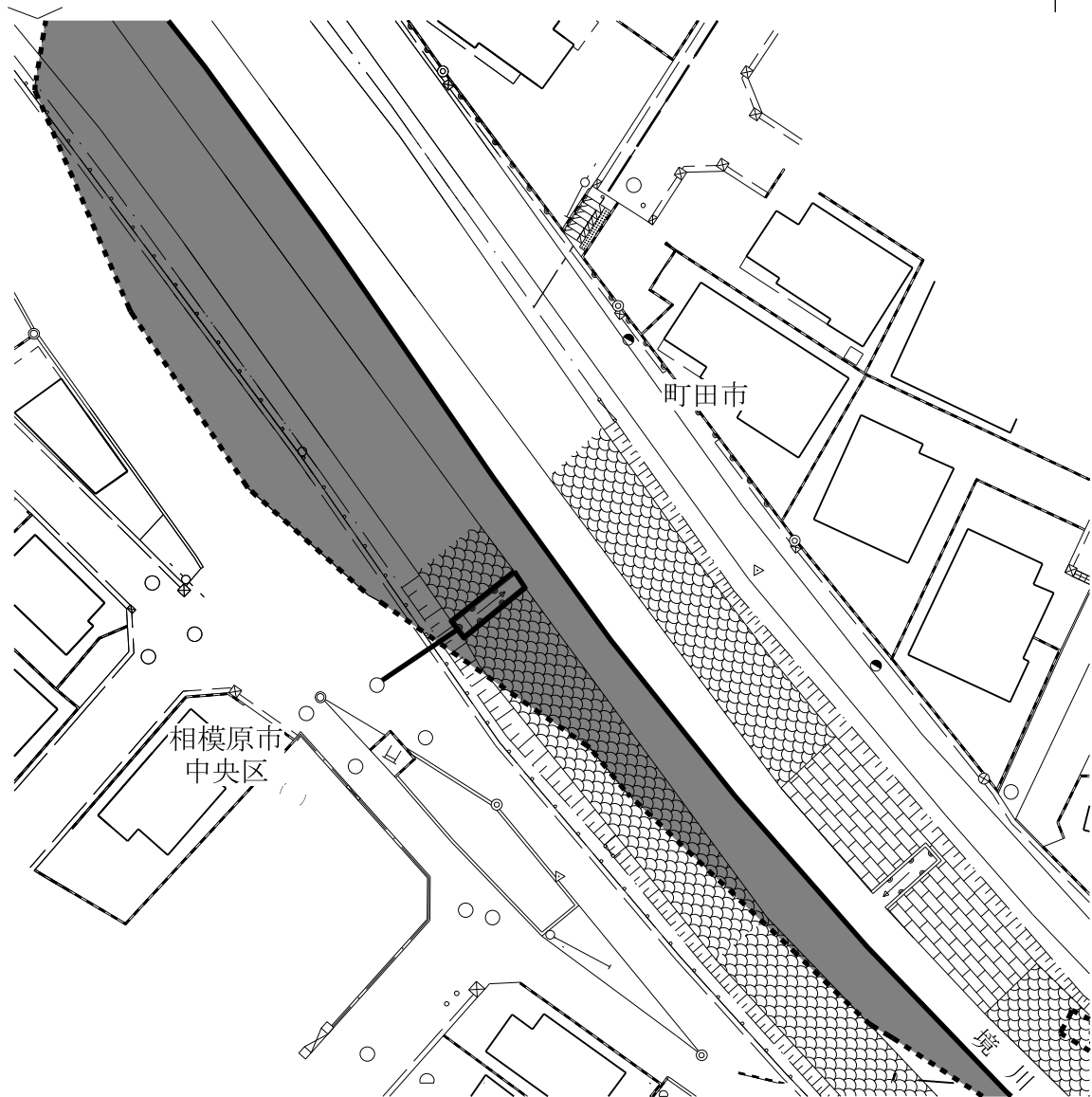
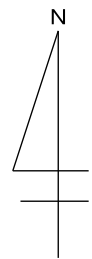
詳細図 7



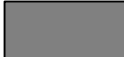



凡 例

-  相模原市に編入する区域
-  相模原市の所有とする公共下水道施設 (雨水管及び吐口)
-  新市境界
-  旧市境界

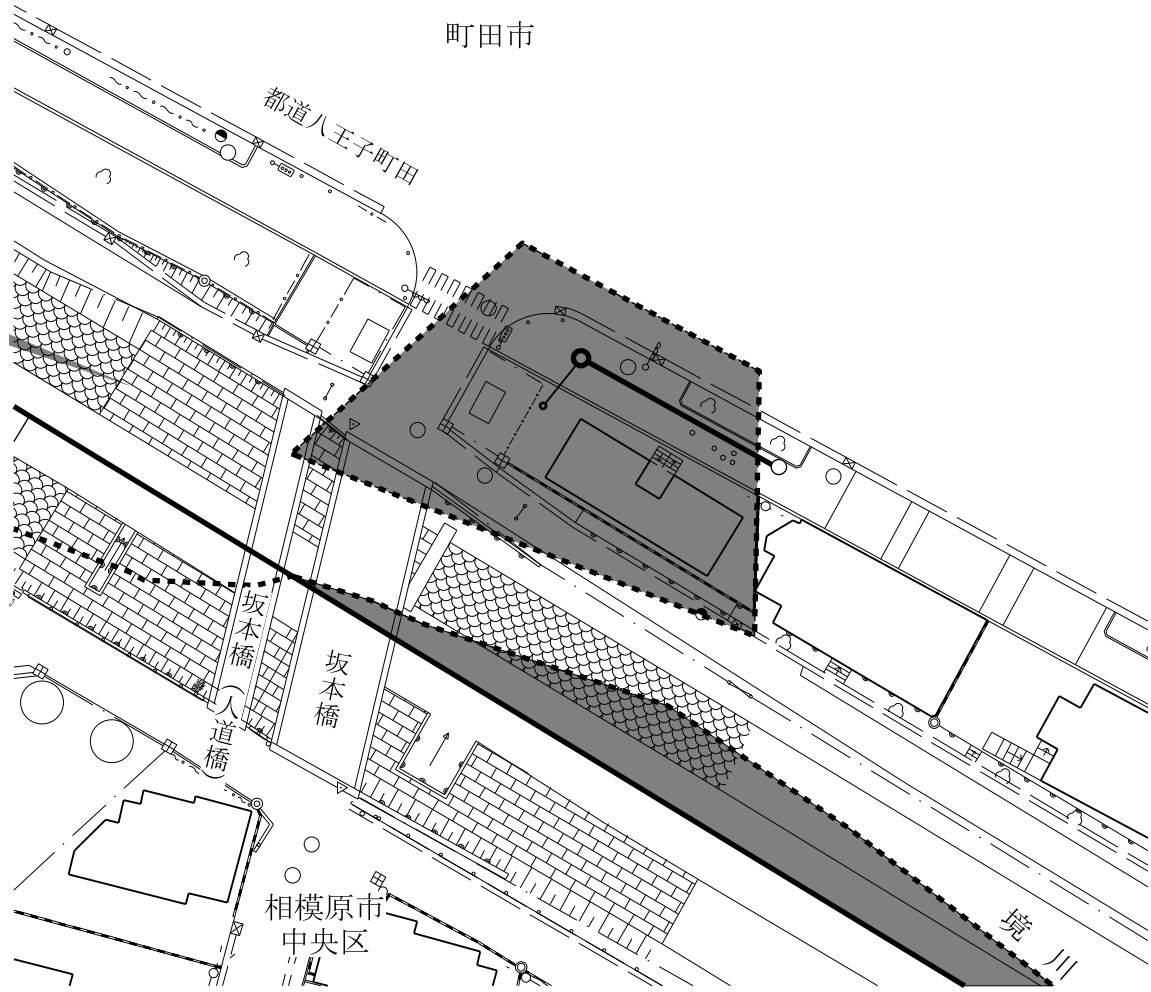
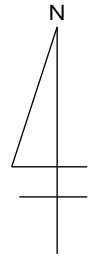
詳細図 8




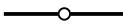


凡例

-  相模原市に編入する区域
-  相模原市の所有とする公共下水道施設 (雨水管及び吐口)
-  新市境界
-  旧市境界

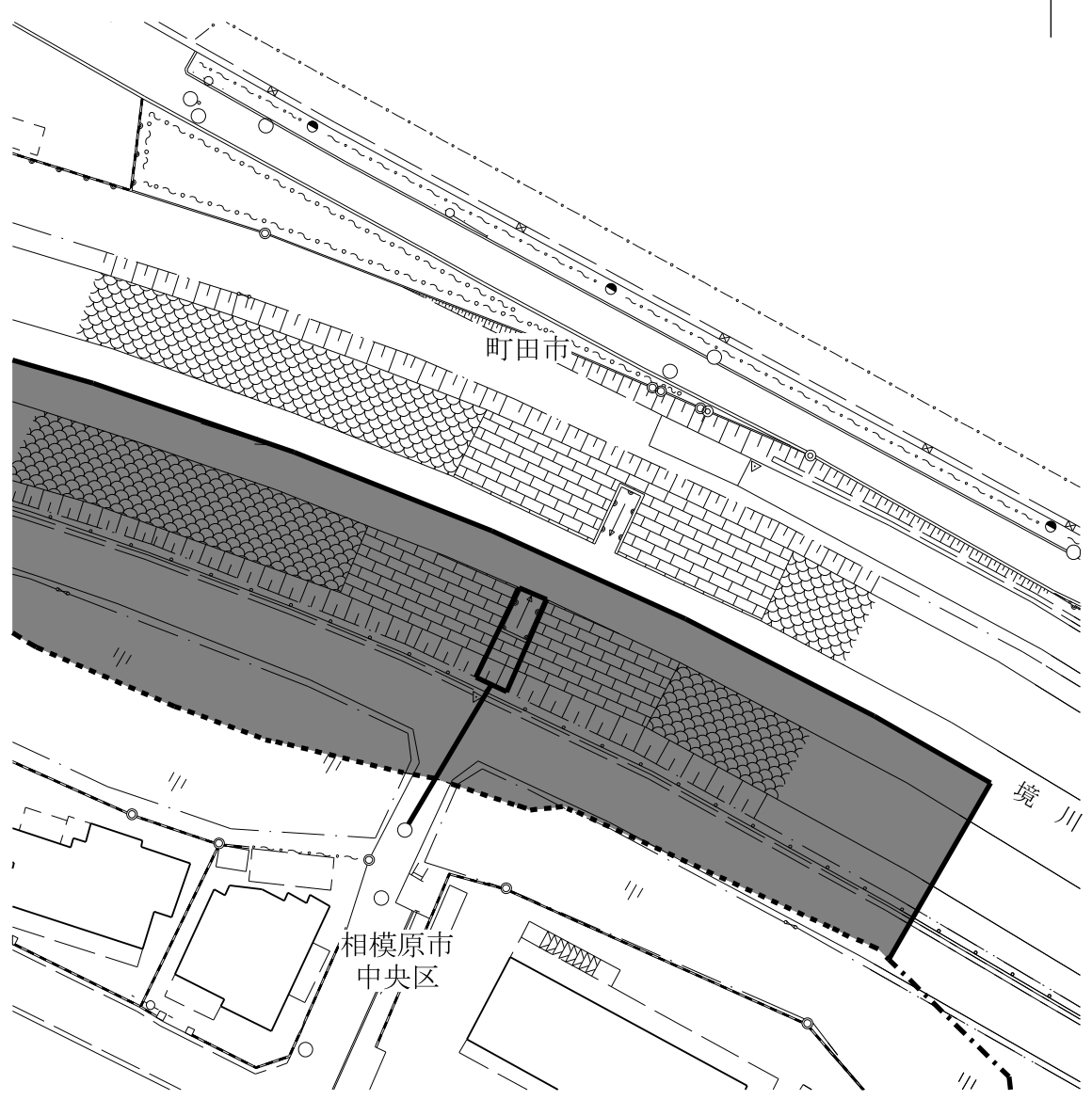
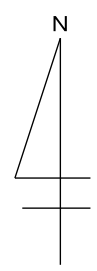
詳細図 9








凡 例

-  町田市に編入する区域
-  町田市に帰属する公共下水道施設
(公共汚水ます、取付管、污水管及び人孔)
-  新市境界
-  旧市境界

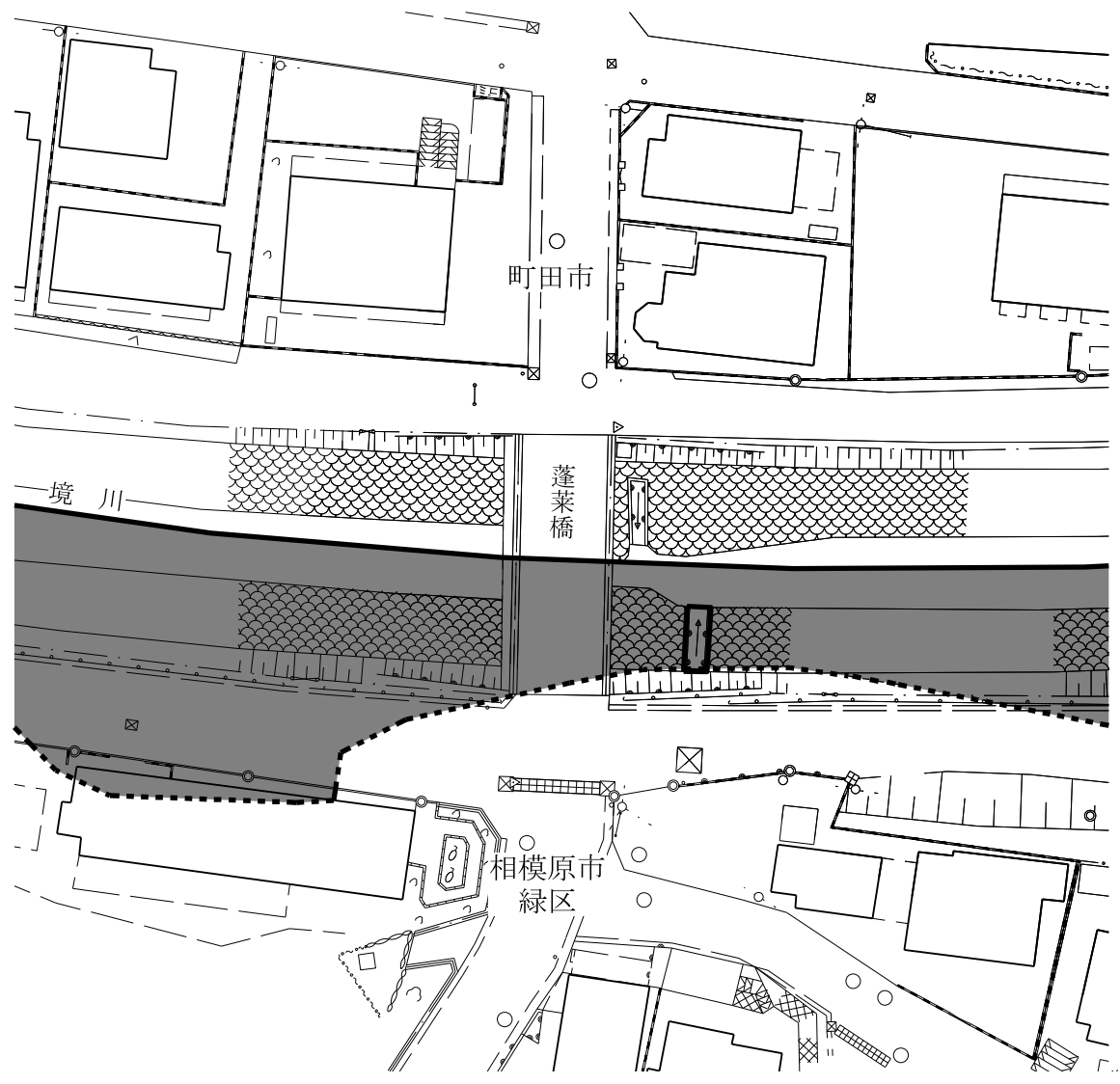
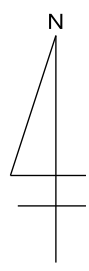
詳細図 10



凡 例

-  相模原市に編入する区域
-  相模原市の所有とする公共下水道施設 (雨水管及び吐口)
-  新市境界
-  旧市境界
-  現市境界

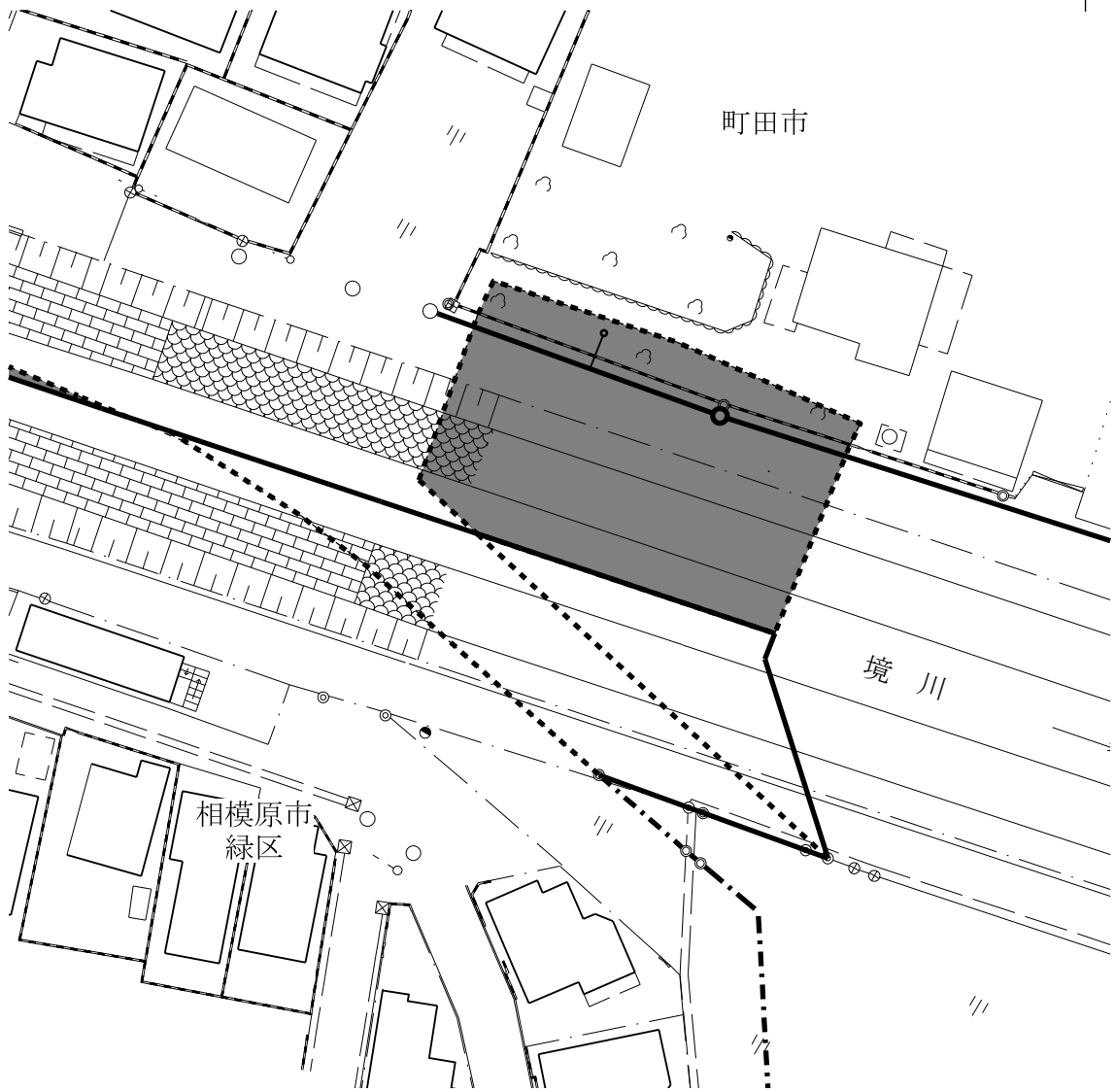
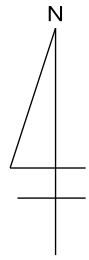
詳細図 1 1




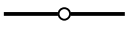



凡 例

- 相模原市に編入する区域
- 相模原市の所有とする公共下水道施設 (吐口)
- 新市境界
- 旧市境界

詳細図 1 2



凡 例

-  町田市に編入する区域
-  町田市の所有とする公共下水道施設
(公共汚水ます、取付管、污水管及び人孔)
-  新市境界
-  旧市境界
-  現市境界

住居表示の市街地区域について

本市における住居表示の市街地区域を別図のとおり定める。

なお、施行の日は、相模原市と町田市との境界変更の日とする。

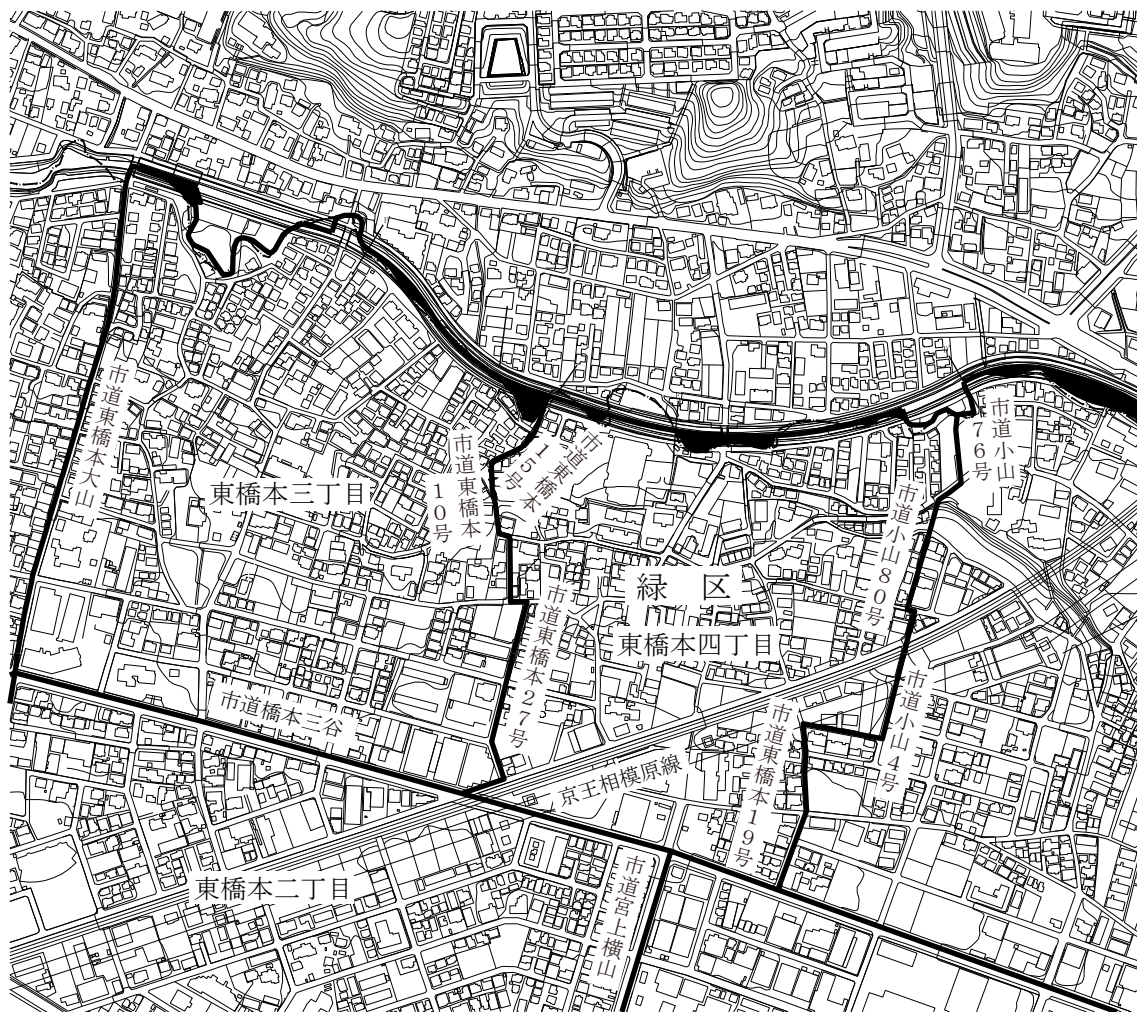
平成27年11月19日提出

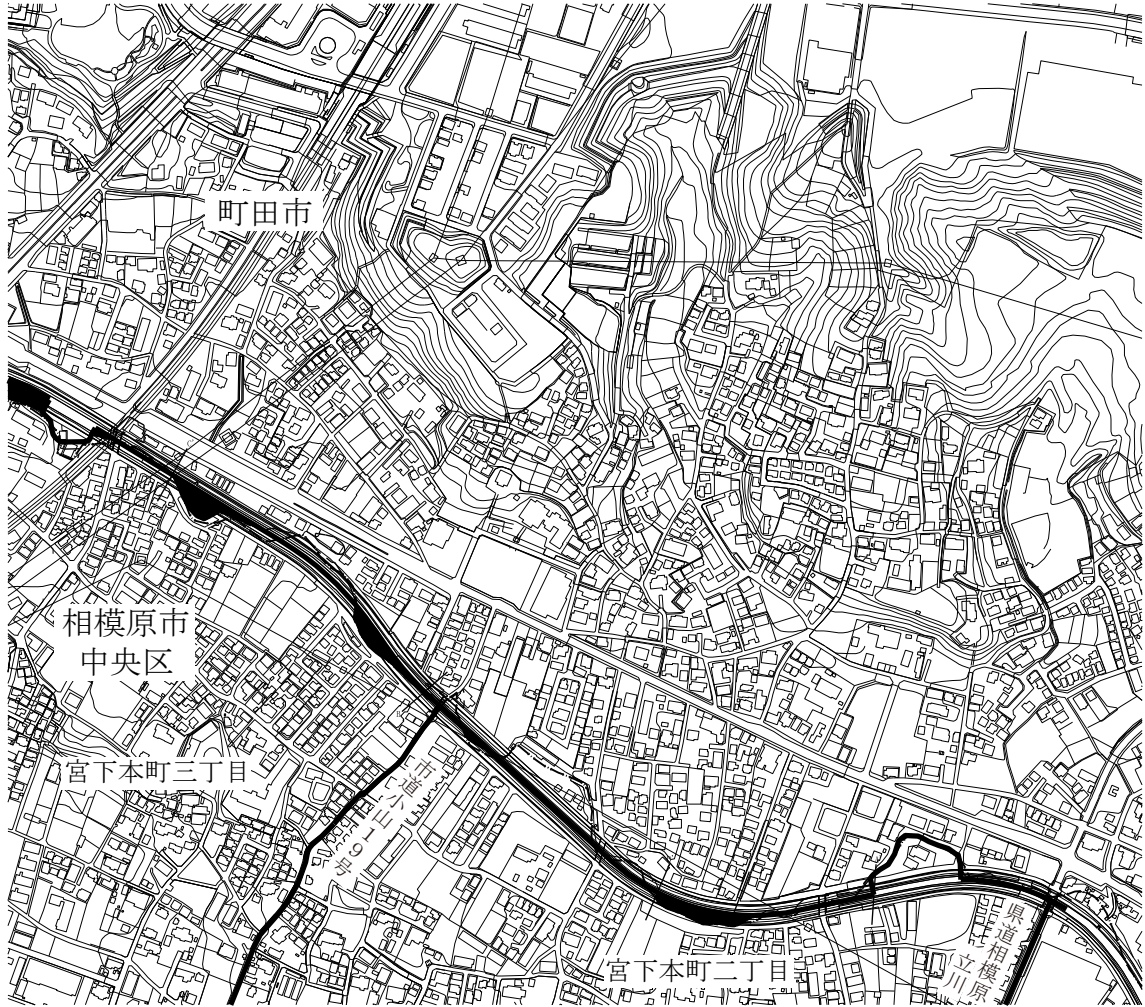
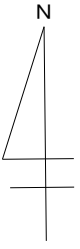
相模原市長 加山俊夫

提案の理由

相模原市と町田市との境界変更に伴い、同市から編入されることとなる区域について、住居表示を実施するため、市街地区域として定めたく、住居表示に関する法律(昭和37年法律第119号)第3条第1項の規定により提案するものである。

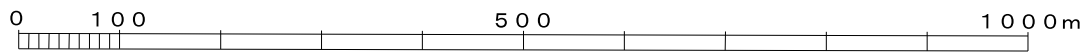
別 図





凡 例

-  市街地区域
-  町界



町の区域の変更について
本市の町の区域を別表のとおり変更する。
なお、変更の日は、相模原市と町田市との境界変更の日とする。

平成27年11月19日提出

相模原市長 加山俊夫

提案の理由

相模原市と町田市との境界変更に伴い、町の区域を変更いたしたく、地方自治法(昭和22年法律第67号)第260条第1項の規定により提案するものである。

別表

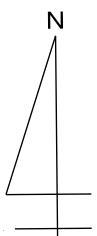
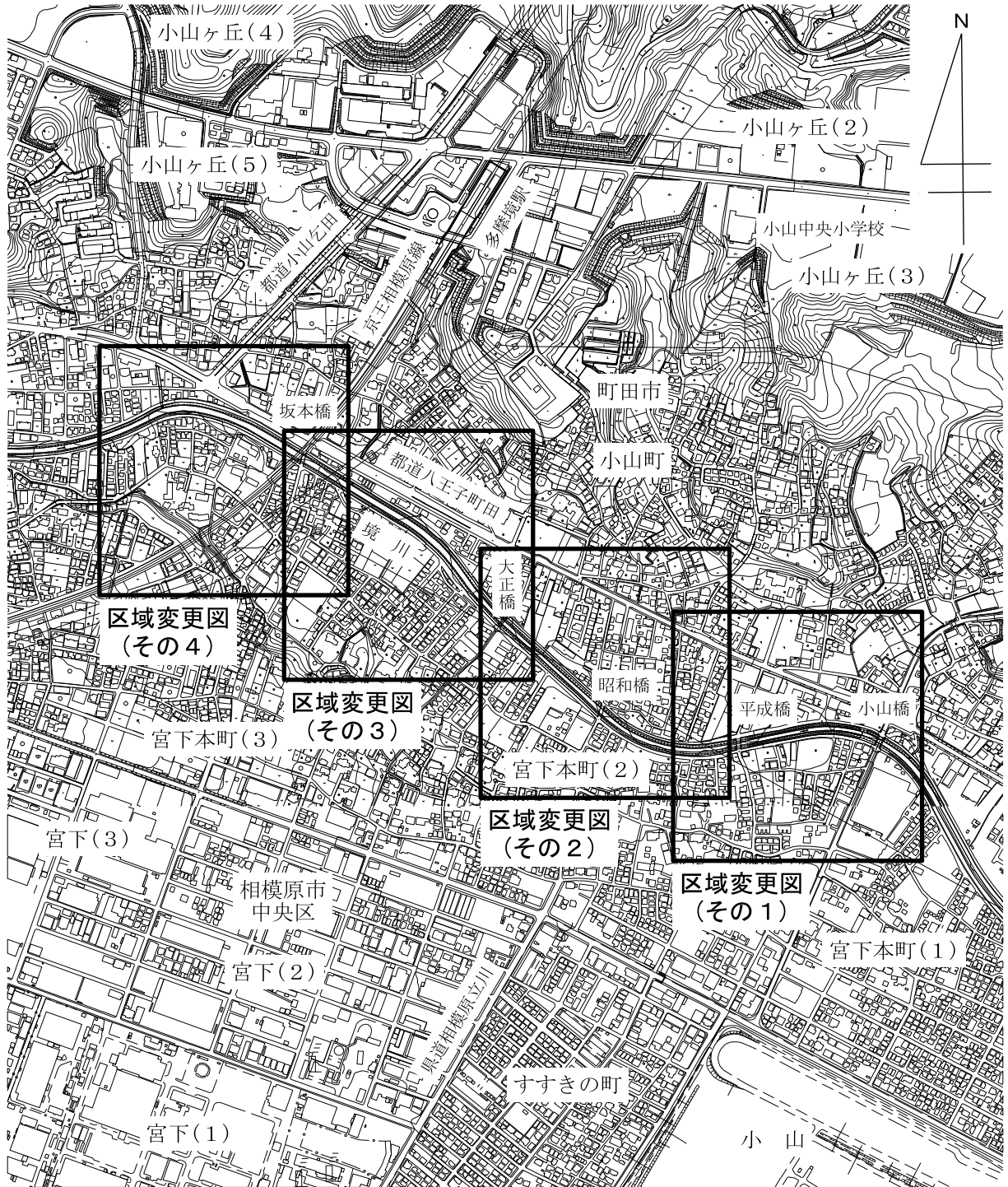
町の区域の変更調書		
区域を変更する町名	左の区域に編入される区域	
	大字名及び字名	地番
相模原市中央区宮下本町 二丁目	町田市小山町字九号	1 1 6 8 の 4 の 一 部 上記の区域に隣接する水路である国有地の一部 町田市小山町字九号 1 1 6 4 の 2、 1 1 6 8 の 6 の地先の水路である国有地の一部
	町田市小山町字二十二 号	2 4 5 0 の 8 の 一 部 2 4 5 1 の 2 2 4 5 1 の 3 の 一 部 2 4 6 4 の 2 2 4 6 4 の 3 の 一 部 2 4 6 5 の 2 の 一 部 2 4 9 3 の 5 の 一 部 2 4 9 4 の 6 の 一 部 上記の区域に隣接する道路、水路である国有地の一 部 町田市小山町字二十二号 2 4 9 2 の 3、 2 4 9 2 の 6、 2 4 9 3 の 4、 2 4 9 4 の 7 の地先の水路で ある国有地の一部
相模原市中央区宮下本町 三丁目	町田市小山町字二十二 号	2 4 9 9 の 7 の 一 部 上記の区域に隣接する道路、水路である国有地の一 部 町田市小山町字二十二号 2 4 9 7 の 3、 2 4 9 8 の 7 の地先の水路である国有地の一部
	町田市小山町字二十三 号	2 6 1 0 の 2 の 一 部 2 6 2 1 の 4 2 6 2 1 の 5 の 一 部 2 6 3 2 の 1 の 一 部

		2 6 3 2 の 4 の 一 部 2 6 3 2 の 9 の 一 部
		上 記 の 区 域 に 隣 接 介 在 す る 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部 町 田 市 小 山 町 字 二 十 三 号 2 6 3 5 の 5 の 地 先 の 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部
	町 田 市 小 山 町 字 二 十 九 号	3 1 5 5 の 2 の 一 部
		上 記 の 区 域 に 隣 接 す る 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部 町 田 市 小 山 町 字 二 十 九 号 3 1 5 1 の 2 、 3 1 5 1 の 4 の 地 先 の 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部
	町 田 市 小 山 町 字 三 十 八 号	4 2 6 0 の 2 の 一 部 4 2 6 1 の 2 の 一 部 4 2 6 2 の 1 の 一 部 4 2 6 3 の 4 の 一 部 4 2 6 4 の 2 の 一 部 4 2 6 5 の 2 の 一 部
		上 記 の 区 域 に 隣 接 す る 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部 町 田 市 小 山 町 字 三 十 八 号 4 2 7 2 の 1 、 4 2 7 2 の 3 の 地 先 の 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部
相 模 原 市 緑 区 東 橋 本 三 丁 目	町 田 市 小 山 町 字 三 十 三 号	3 5 1 6 の 2 3 5 1 6 の 4 3 5 5 1 の 2 の 一 部
		上 記 の 区 域 に 隣 接 す る 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部 町 田 市 小 山 町 字 三 十 三 号 3 5 1 7 の 2 、 3 5 2 3 の 2 、 3 5 5 1 の 3 、 3 5 5 1 の 4 の 地 先 の 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部
		町 田 市 小 山 町 字 三 十 四 号 3 6 4 1 の 4 、 3 6 5 5 の 4 、 3 6 6 9 の 4 、 3 6 6 9 の 2 2 の 地 先 の 水 路 で あ る 国 有 地 の 一 部
	町 田 市 小 山 町 字 三 十 八 号	4 3 3 3 の 一 部

	号	4 3 3 4 の 2 の 一 部 上記の区域に隣接する水路である国有地の一部 町田市小山町字三十八号 4 3 2 9 の 2 の 地 先 の 水 路である国有地の一部
相模原市緑区東橋本四丁目	町田市小山町字三十八号	4 3 1 1 の 2 の 一 部 4 3 1 2 の 2 の 一 部 4 3 1 3 の 2 の 一 部 4 3 1 4 の 一 部 4 3 3 1 の 2 の 一 部 上記の区域に隣接介在する道路、水路である国有地の一部 町田市小山町字三十八号 4 2 8 6 の 2、4 2 8 8 の 2、4 2 9 0 の 2、4 2 9 1 の 4、4 3 1 0 の 2、4 3 1 2 の 3、4 3 1 6 の 1、4 3 1 6 の 4、4 3 3 1 の 3、4 3 3 1 の 5、4 3 3 2 の 2 の 地 先 の 道 路、水 路 だ る 国 有 地 の 一 部

備考 上記の土地の表示は、平成 2 7 年 1 0 月 1 日現在の土地の登記事項証明書によるものである。

案内図(その1)



区域変更図
(その4)

区域変更図
(その3)

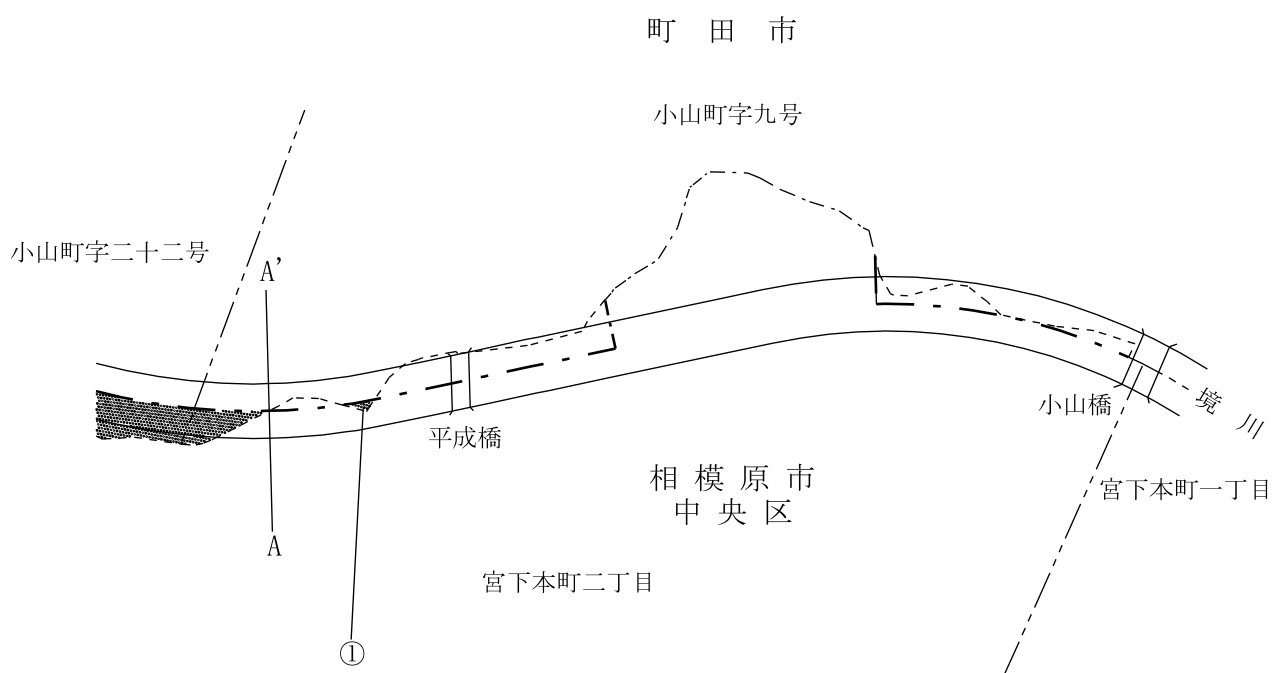
区域変更図
(その2)

区域変更図
(その1)

凡例

 変更区域

区域変更図（その1）

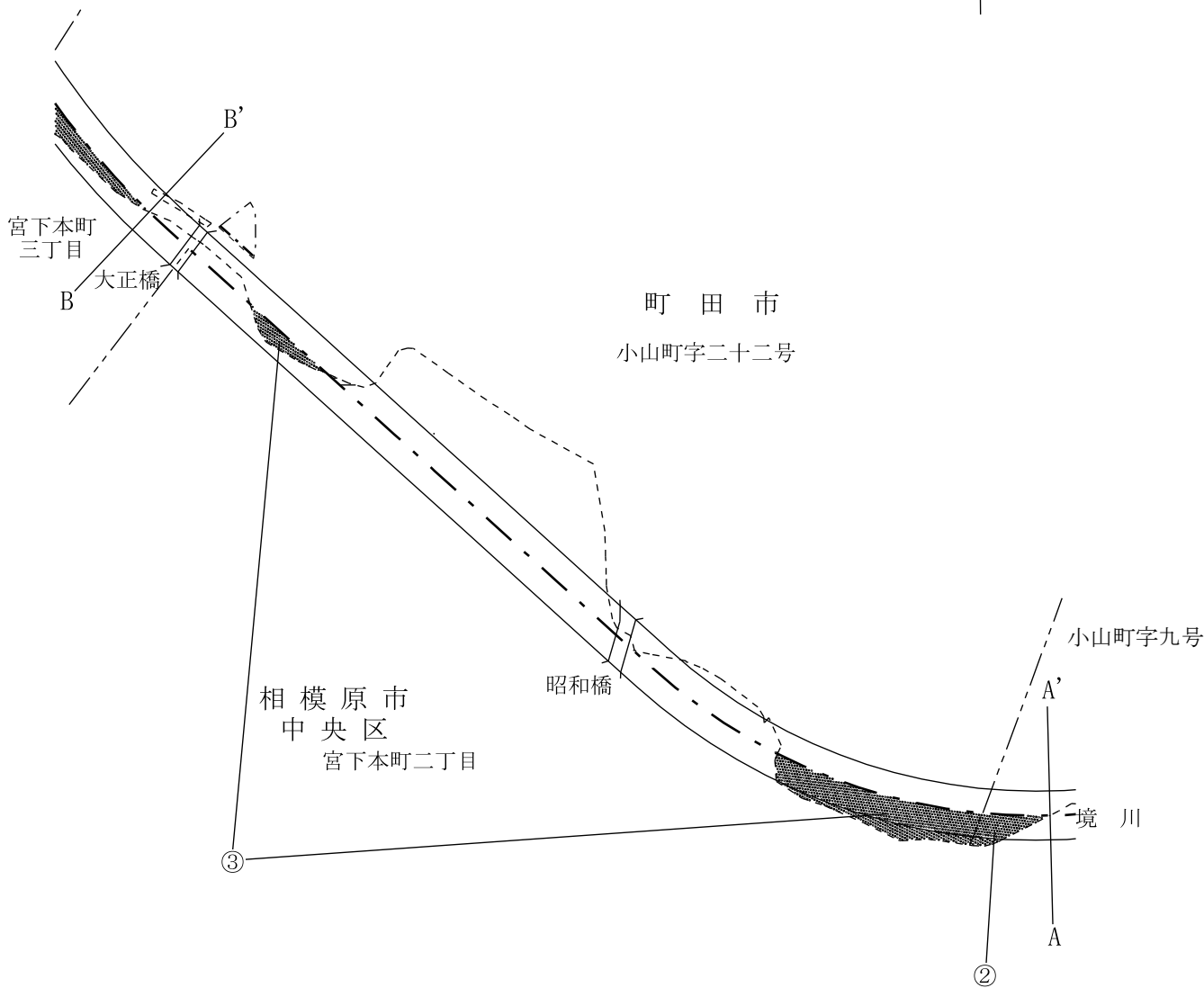
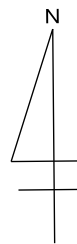


凡例

— · — · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界・字界
▨	町の区域変更部分

① 町田市小山町字九号から相模原市中央区宮下本町二丁目に変更する区域

区域変更図（その2）



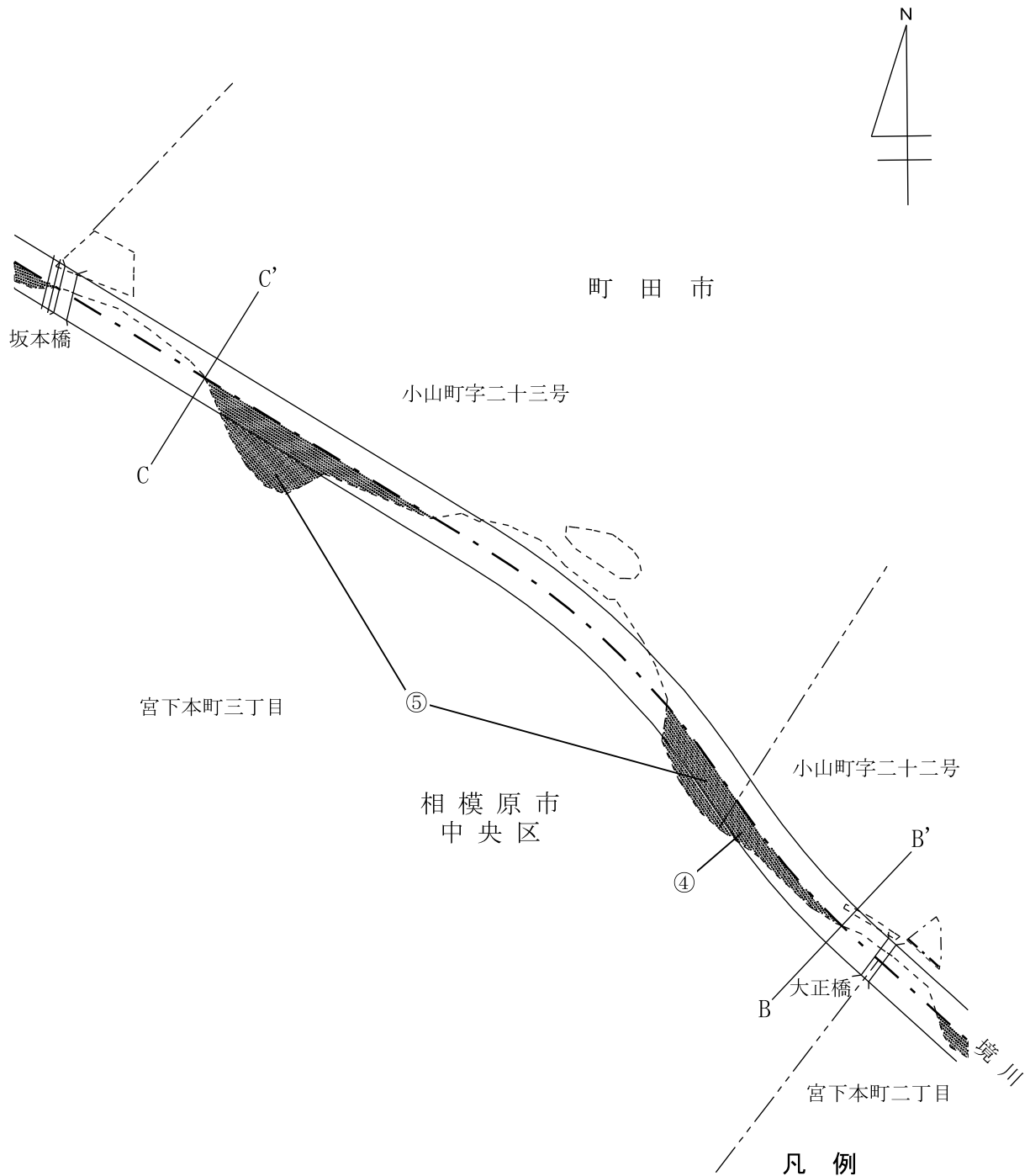
凡例

— · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界・字界
▨	町の区域変更部分

②町田市小山町字九号から相模原市中央区宮下本町二丁目に変更する区域

③町田市小山町字二十二号から相模原市中央区宮下本町二丁目に変更する区域

区域変更図（その3）

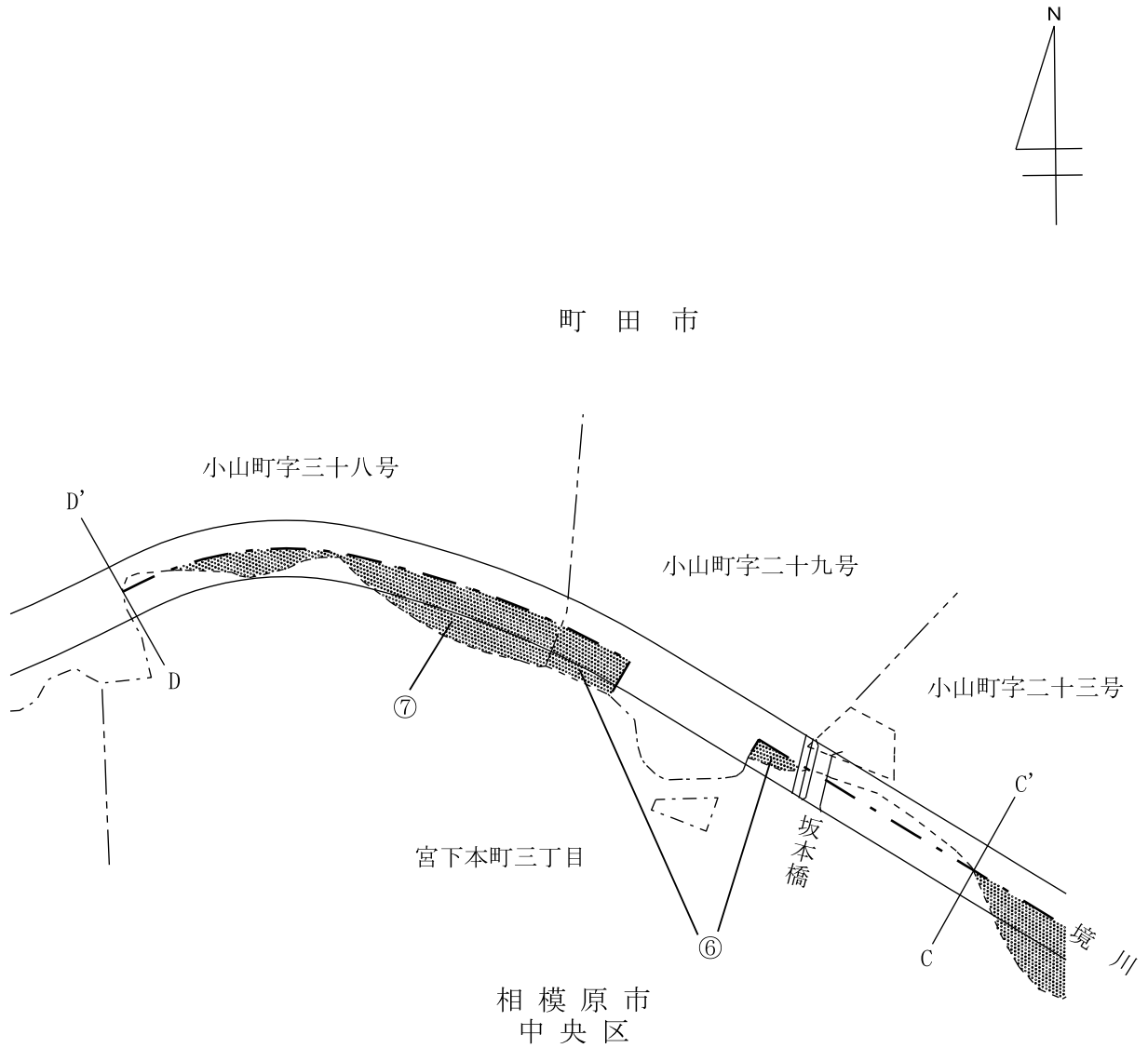


凡 例

— · — · — ·	新 市 境 界
-----	旧 市 境 界
-----	市 境 界
— · — · — ·	町 界 ・ 字 界
▨	町の区域変更部分

- ④ 町田市小山町字二十二号から相模原市中央区宮下本町三丁目に変更する区域
- ⑤ 町田市小山町字二十三号から相模原市中央区宮下本町三丁目に変更する区域

区域変更図（その4）

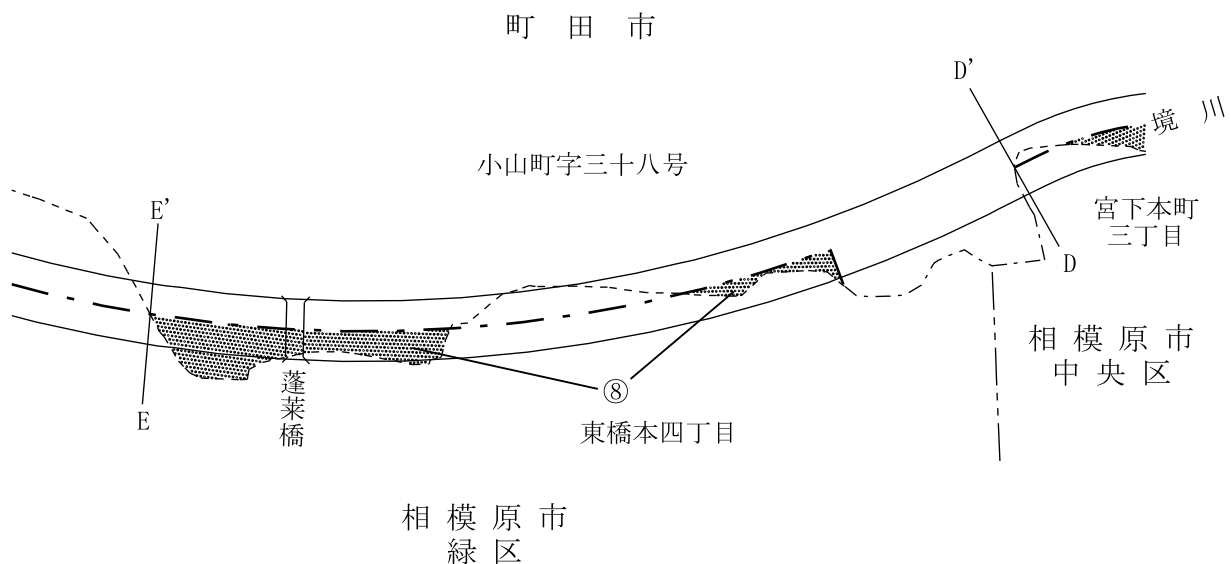
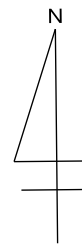


凡例

— · — · — ·	新市境界
·····	旧市境界
—————	市境界
— · — · — ·	町界・字界
■	町の区域変更部分

- ⑥ 町田市小山町字二十九号から相模原市中央区宮下本町三丁目に変更する区域
- ⑦ 町田市小山町字三十八号から相模原市中央区宮下本町三丁目に変更する区域

区域変更図（その5）

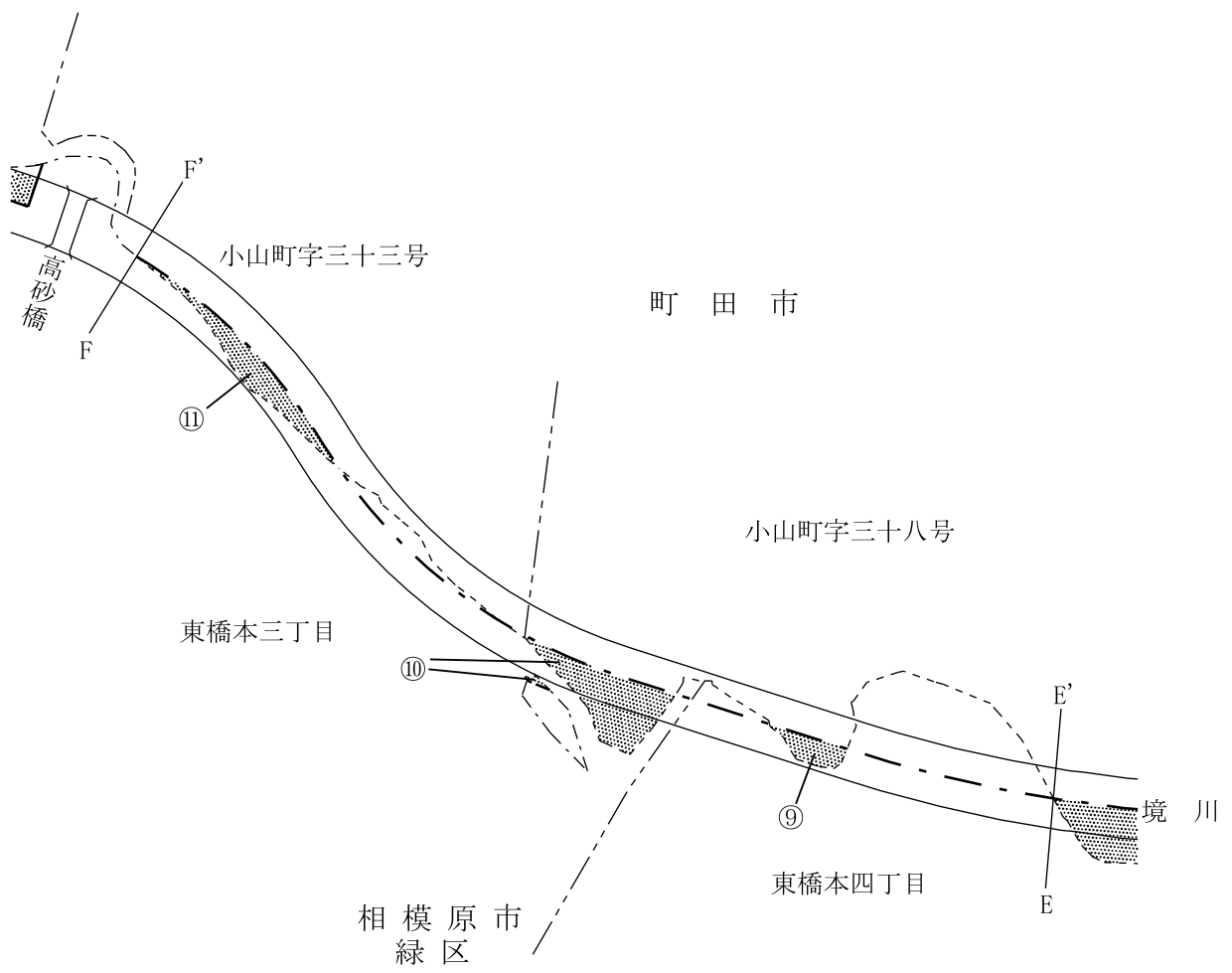
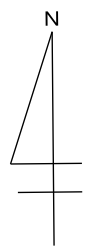


凡例

— · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界
▨	町の区域変更部分

⑧ 町田市小山町字三十八号から相模原市緑区東橋本四丁目に変更する区域

区域変更図（その6）

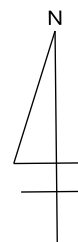


凡例

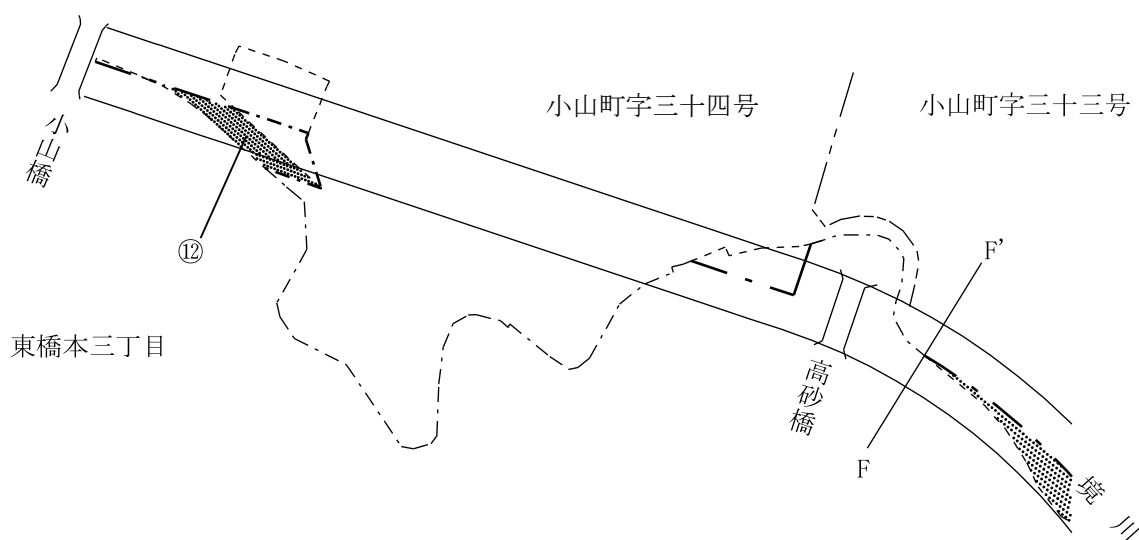
— · — · — ·	新市境界
-----	旧市境界
-----	市境界
-----	町界・字界
▨	町の区域変更部分

- ⑨ 町田市小山町字三十八号から相模原市緑区東橋本四丁目に変更する区域
- ⑩ 町田市小山町字三十八号から相模原市緑区東橋本三丁目に変更する区域
- ⑪ 町田市小山町字三十三号から相模原市緑区東橋本三丁目に変更する区域

区域変更図（その7）



町 田 市



相 模 原 市
緑 区

凡 例

— · — · — ·	新 市 境 界
-----	旧 市 境 界
-----	市 境 界
-----	字 界
▨	町の区域変更部分

⑫ 町田市小山町字三十四号から相模原市緑区東橋本三丁目に変更する区域

指定管理者の指定について(相模原市立市民・大学交流センター)
次のとおり、指定管理者を指定する。

平成27年11月19日提出

相模原市長 加山俊夫

- 1 管理を行わせる施設の名称
相模原市立市民・大学交流センター
- 2 指定管理者
所在地 相模原市南区文京2丁目1番1号
名称 公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム
- 3 指定の期間
平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

提案の理由

相模原市立市民・大学交流センターの指定管理者を指定いたしたく、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第6項の規定により提案するものである。

議案第 148 号関係資料(その 1)

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムの概要

1 設立年月日等

平成 22 年 4 月 1 日 設立

平成 22 年 10 月 1 日 公益社団法人に移行

2 規模

(1) 職員数等 役員 9 名、職員 32 名

(2) 資産の総額 8,980,304 円

3 事業概要等

(1) 事業概要

ア 公益目的事業

(ア) 多彩な学びの場を市民に提供する事業

(イ) まちづくりの担い手を育成する事業

(ウ) 新たな文化・福祉・産業の発展に寄与する事業

(エ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

イ 収益事業等

(ア) ア(ア)から(エ)までに関わる施設等の管理運営事業

(イ) その他の事業

(2) 公共的施設の主な管理実績

相模原市立市民・大学交流センターの指定管理者(平成 25 年 3 月から現在に至る。)

議案第148号関係資料(その2)

相模原市立市民・大学交流センターの指定管理者の選考について

1 選考理由

公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム(以下「候補団体」という。)を指定管理者として選考した理由は、次のとおりである。

- (1) 評価基準に基づき採点を行った結果、最低基準得点を超える合計得点(得点内容は、2(3)イのとおり)を得たこと(評価項目のうち配点に対する得点の割合が低かった「収支計画」及び「申請団体の経営状況」については、相模原市立市民・大学交流センター指定管理者選考委員会(以下「選考委員会」という。)から候補団体に追加資料を求めたところ、収支の改善計画が提出され、改善の見通しがあることが確認された。)
- (2) 事業計画において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準をおおむね満たしており、かつ、充実した事業展開がなされ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。

2 選考までの経過

(1) 指定管理者となる要件

市民と大学等との連携により地域の課題の解決又は地域の活性化を図ることを目的として設立された法人その他の団体

(2) 指定管理者の公募

ア 募集要項の配布 平成27年6月15日から同年7月16日まで

イ 申請の受付 平成27年7月27日から同年8月28日まで(申請数 1 団体)

(3) 選考

平成27年10月7日に、申請のあった団体による提案説明会を公開で実施し、それを踏まえ、引き続き開催された選考委員会において、各選考委員が評価基準に基づき採点を行った。

ア 選考委員会の委員の構成

委員長(大学准教授)及び委員(金融機関代表者1名、公認会計士1名、市職員2名) 計5名

イ 評価基準・評価結果

(ア) 委員 5 名の候補団体に対する評価基準に基づく評価結果は、次のとおりである。

評価項目		配点	得点
事業計画・収支予算			
内 訳	管理運営に対する基本方針、抱負等	20	16
	市民サービス水準の確保	50	38
	施設等の維持管理の計画・内容	50	44
	年間事業計画の理念・内容	50	40
	大学又はシェアードオフィス入居者等の連携	100	66
	地域や他団体との連携、地域活動	100	46
	団体独自の発想に基づく提案	50	34
	管理に必要な人員の配置	50	32
	利用者満足度・利用者ニーズの把握	50	38
	収支計画	50	12
	小計	570	366
管理を行う能力			
内 訳	申請団体の経営状況	20	2
	組織・人員体制	20	10
	雇用及び労働条件	20	16
	申請団体の事業実績	20	16
	施設の安全、衛生管理等の体制	40	34
	個人情報保護及び情報公開の体制	20	17
	公共性への取組	20	16
	法令等の遵守	20	15
	小計	180	126
小計	750	492	
経費削減に対する評価		37	0
合計		787	492

備考

1 事業計画・収支予算及び管理を行う能力に係る評価(以下「事業計画・収支予算等評価」という。)に関する合計得点における最低基準得点は、380点とした。

2 経費削減に対する評価に関する得点(以下「経費削減に係る得点」という。)は、事業計画・収支予算等評価に関する配点の合計の5パーセント(小数点以下切捨て)を上限とし、次のとおり算出した。

$$\text{経費削減に係る得点} = (\text{提案に当たっての上限額(年額)} - \text{提案額(年額)}) \\ \div \text{提案に当たっての上限額(年額)} \times 100$$

(イ) 候補団体について、配点の合計(787点)を100点満点に換算した場合の得点は、62.5点(小数点以下1位未満切捨て)である。

指定管理者の指定について(相模原市立青野原診療所他 2 施設)
次のとおり、指定管理者を指定する。

平成 27 年 11 月 19 日提出

相模原市長 加山 俊夫

- 1 管理を行わせる施設の名称
相模原市立青野原診療所、相模原市立千木良診療所及び相模原市立藤野診療所
- 2 指定管理者
所在地 東京都港区芝大門 1 丁目 1 番 3 号
名 称 日本赤十字社
- 3 指定の期間
平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

提案の理由

相模原市立青野原診療所、相模原市立千木良診療所及び相模原市立藤野診療所の指定管理者を指定いたしたく、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 6 項の規定により提案するものである。

議案第 1 4 9 号関係資料(その 1)

日本赤十字社の概要

1 設立年月日等

明治 1 0 年 5 月 1 日 設立

明治 2 0 年 5 月 2 0 日 博愛社から日本赤十字社に改称

2 規模

(1) 職員数等 役員 6 7 名、職員 6 6 , 1 2 9 名

(2) 資産の総額 5 7 3 , 4 4 1 , 8 1 9 , 8 2 1 円

3 事業概要等

(1) 事業概要

ア 救護員の確保及び養成訓練、救護材料の準備並びに救護に関する組織及び
装備の整備

イ 安否調査、赤十字通信その他捕虜抑留者の援護に必要な事業

ウ 病院及び診療所の経営

エ 血液センターの経営その他血液事業の普及発達

オ 救急法、水上安全法その他の安全事業の普及及び指導

カ 巡回診療その他による保健指導

キ 赤十字奉仕団の育成及び指導並びに青少年赤十字の普及

ク 身体障害者の更生援護に必要な事業及び施設の経営

ケ 児童及び妊産婦の保護その他社会福祉のために必要な事業及び施設の経営

(2) 公共的施設の主な管理実績

ア 相模原市立青野原診療所、相模原市立千木良診療所及び相模原市立藤野診
療所の指定管理者(平成 2 2 年 4 月から現在に至る。)

イ 神奈川県立青野原診療所、神奈川県立千木良診療所及び神奈川県立藤野診
療所の指定管理者(平成 1 8 年 4 月から平成 2 2 年 3 月まで)

ウ 京都市子ども保健医療相談・事故防止センターの指定管理者(平成 1 6 年
8 月から現在に至る。)

エ 横浜市立みなと赤十字病院の指定管理者(平成 1 7 年 4 月から現在に至る。)

オ 神奈川県ライトセンターの指定管理者(平成 1 8 年 4 月から現在に至る。)

議案第149号関係資料(その2)

相模原市立青野原診療所、相模原市立千木良診療所及び相模原市立藤野診療所の指定管理者の選考について

相模原市立青野原診療所、相模原市立千木良診療所及び相模原市立藤野診療所については、公募を行わず、指定管理者となる要件を満たす日本赤十字社(以下「候補団体」という。)を指定管理者の申請ができる法人とした。

1 選考理由

候補団体を指定管理者として選考した理由は、次のとおりである。

- (1) 評価基準に基づき採点を行った結果、最低基準得点を超え、かつ、高い合計得点(得点内容は、2(3)イのとおり)を得たこと。
- (2) 各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したこと。
- (3) 候補団体の経営状況が良好であり、継続的な管理運営が期待できること。

2 選考までの経過

(1) 指定管理者となる要件

法人その他の団体

(2) 指定管理者の申請の受付等

ア 申請要項の配布 平成27年8月14日

イ 説明会 平成27年8月14日

ウ 申請の受付 平成27年8月24日から同年9月25日まで

(3) 選考

平成27年10月8日に、候補団体による提案説明会を公開で実施し、それを踏まえ、引き続き開催された相模原市立診療所指定管理者選考委員会(以下「選考委員会」という。)において、各選考委員が評価基準に基づき採点を行った。

ア 選考委員会の委員の構成

委員長(医師)及び委員(公認会計士1名、弁護士1名、市職員2名) 計5名

イ 評価基準・評価結果

(ア) 委員 5 名の候補団体に対する評価基準に基づく評価結果は、次のとおりである。

評価項目		配点	得点
事業計画・収支予算			
内 訳	管理運営に対する基本方針、抱負等	4 0	3 4
	市民サービス水準の確保	5 0	3 9
	施設等の維持管理の計画・内容	2 0	1 4
	年間事業計画の理念・内容	4 0	3 0
	団体独自の発想に基づく提案	3 0	2 4
	管理に必要な人員の配置	4 0	2 8
	利用者満足度・利用者ニーズの把握	4 0	3 0
	収支計画	4 0	3 0
	小 計	3 0 0	2 2 9
管理を行う能力			
内 訳	申請団体の経営状況	4 0	4 0
	組織・人員体制	2 0	1 9
	雇用及び労働条件	2 0	1 6
	申請団体の事業実績	2 0	2 0
	施設の安全、衛生管理等の体制	3 0	2 2
	個人情報保護及び情報公開の体制	2 0	1 6
	公共性への取組	3 0	2 9
	法令等の遵守	2 0	1 8
	小 計	2 0 0	1 8 0
小 計	5 0 0	4 0 9	
経費削減に対する評価		2 5	0
合 計		5 2 5	4 0 9

備考

- 1 事業計画・収支予算及び管理を行う能力に係る評価(以下「事業計画・収支予算等評価」という。)に関する合計得点における最低基準得点は、300点とした。

2 経費削減に対する評価に関する得点(以下「経費削減に係る得点」という。)は、事業計画・収支予算等評価に関する配点の合計の5パーセントを上限とし、次のとおり算出した。

$$\begin{aligned} \text{経費削減に係る得点} &= (\text{提案に当たっての上限額(年額)} - \text{提案額(年額)}) \\ &\quad \div \text{提案に当たっての上限額(年額)} \times 100 \end{aligned}$$

(イ) 候補団体について、配点の合計(525点)を100点満点に換算した場合の得点は、77.9点(小数点以下1位未満切捨て)である。

当せん金付証券の発売限度額について

当せん金付証券法(昭和23年法律第144号)第4条第1項の規定により、平成28年度における当せん金付証券の発売限度額について次のとおり定める。

平成27年11月19日提出

相模原市長 加山俊夫

平成28年度の発売限度額 4,500,000,000円

提案の理由

平成28年度における公共事業等の費用の財源に充てるための当せん金付証券を発売するに当たり、その発売限度額を定める必要があるため、当せん金付証券法(昭和23年法律第144号)第4条第1項の規定により提案するものである。